



## 取扱説明書

# Wi-Fiバレットネットワークカメラ IJKP-VE-CAM1001

IEEE802.11n/b/g規格準拠

はじめに

1 ご使用になる前に

2 設定画面について

3 保守について

4 ご参考に

---

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、IEEE802.11n/b/g規格に準拠した、無線LAN機能搭載のIPカメラです。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

---

## 本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

[ ]表記：本製品の各メニューと、そのメニューに属する設定画面の名称を(「」)で囲んで表記します。

[ ]表記：各設定画面の設定項目名を([ ])で囲んで表記します。

< >表記：設定画面上に設けられたコマンドボタンの名称を(<>)で囲んで表記します。

※ 本書は、IPC\_D1202-B0007P10D1904C82のファームウェアを使用して説明しています。

※ 本書では、Windows 10の画面を例に説明しています。

※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

※ 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

---

## 登録商標/著作権

アイコム情報機器ブランドの、IJKPロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Wi-Fi、WPAは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

ONVIFは、Onvif Inc.の商標または登録商標です。

Ultra 265は、Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd.の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

本ソフトウェア、および本ドキュメントは、アイコム株式会社が著作権を保有します。

# はじめに

## 本製品の概要について

- ◎ ネットワークに接続すると、遠隔でIPカメラの映像が確認できます。
- ◎ IEEE802.11n/b/g規格に準拠し、最大150Mbps(理論値)の速度で通信できます。
- ◎ ネットワーク認証は、「オープンシステム(認証なし)」、「WEP(共有キー)」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」に対応しています。
- ◎ 赤外線暗視機能を搭載しているため、夜間や光のない環境でも撮影できます。
- ◎ IP67(耐塵形と防浸形)の性能に対応できるように設計されています。(本体のみ)
- ◎ 本製品は、免許不要・資格不要です。

## IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP6X(耐塵形)：試験用粉塵を1m<sup>3</sup>あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、機器内部に粉塵の侵入がないこと

IPX7(防浸形)：水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、機器として機能すること

## 出荷時のおもな設定値

設定メニュー	設定画面	設定タブ	設定名称	設定値
ネットワーク	ネットワーク	ネットワーク	IPアドレスを取得	DHCP
			IPアドレス	192.168.1.13
			サブネットマスク	255.255.255.0
ビデオ	スナップショット	スナップショット	スナップショット	ON
			スナップショットモード	スケジュール
ストレージ	ストレージ	ストレージ	ストレージポリシー	マニュアル録画
			録画容量不足の場合	上書き
セキュリティ	ユーザー	ユーザー	ユーザー名	admin(変更不可)
			ユーザータイプ	管理者(変更不可)
			古いパスワード	123456(半角小文字)

### 不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字、アルファベット(大文字/小文字)、特殊文字を組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

---

# はじめに

---

## 各設定ツールの機能比較

(2023年7月現在)

### ◎IJKP-VE-CAM1001(本書)

パソコンからIPカメラの自動録画、詳細な設定をする場合は、パソコンのWWWブラウザで設定します。

### ◎Guard Station(本書では「アプリ」と呼んでいます)

パソコンから複数台のIPカメラを管理できます。

パソコンからIPカメラを閲覧できるGuard Station(無償ダウンロード)があります。

弊社ホームページに掲載の「Guard Station 操作説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってインストールください。

※Guard Stationは、サポート対象外です。

※これらのソフトウェア、並びにアプリは、機能の拡張や改修の為、バージョンアップすることがあります。

更新作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

---

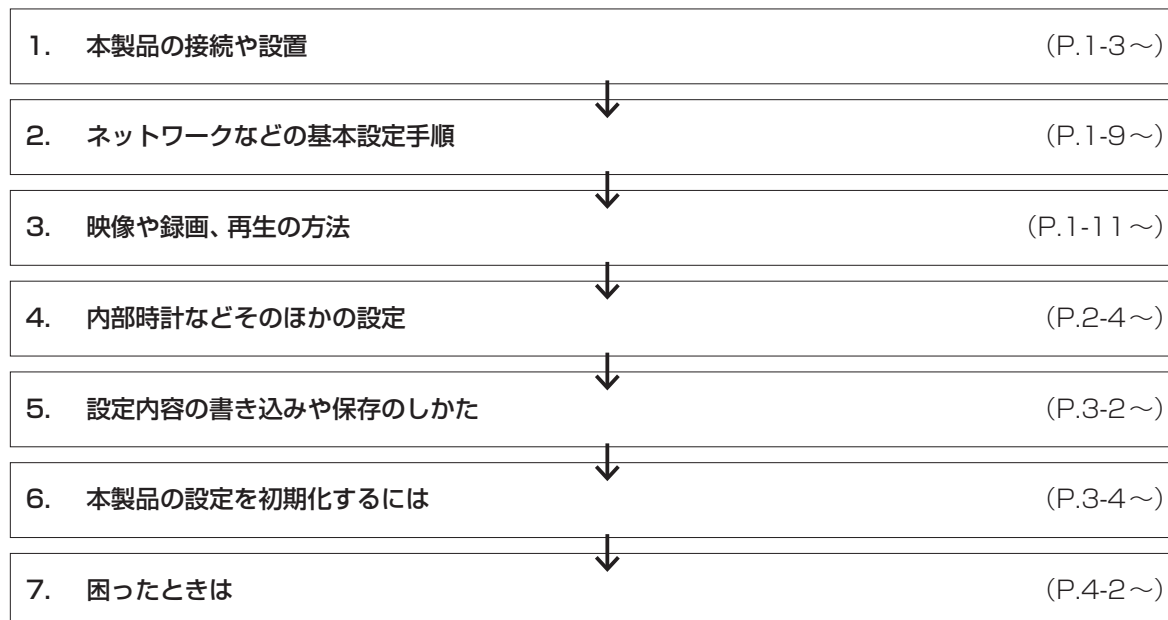
# はじめに

---

## ご使用までの流れ

---

本製品を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。



この章では、  
本製品の基本操作やおもな機能などを説明しています。

---

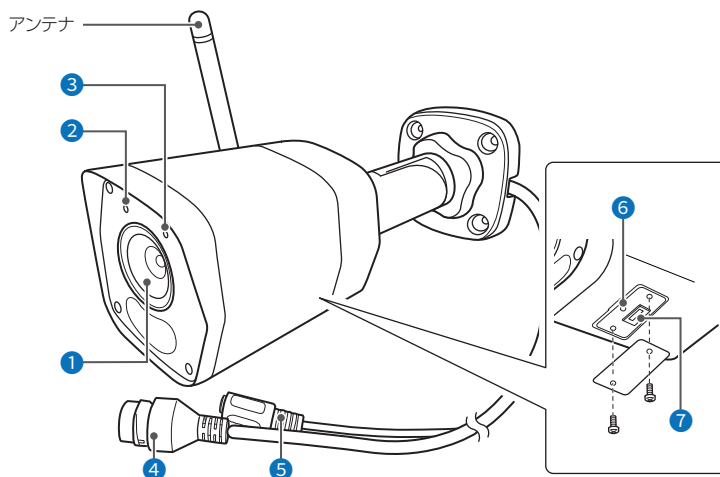
1. 各部の名称と機能	1-2
■ IJKP-VE-CAM1001	1-2
2. 接続や設置について	1-3
■ 本製品を固定するには	1-3
■ 設置場所について	1-4
■ 防水処理について	1-4
3. 導入のしかた	1-5
■ 設定に使うパソコンを接続する	1-5
■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがないネットワークを使用する場合)	1-6
■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがあるネットワークを使用する場合)	1-7
■ パスワードを変更する	1-8
■ 本体IPアドレスを変更するときは	1-9
■ 設定画面の名称と機能について	1-10
4. 映像を確認する	1-11
5. 時間を設定する	1-12
6. ローカル録画をする	1-13
7. 自動で録画する	1-14
■ 常時録画をする	1-14
■ スケジュール録画をする	1-15
8. 録画を再生する	1-16

# 1 ご使用になる前に

## 1. 各部の名称と機能

### ■ IJKP-VE-CAM1001

IJKP-VE-CAM1001の接続部やボタンについて説明します。



- ① レンズ ..... 撮影時に使用します。
- ② マイク ..... 録音時に使用します。
- ③ ランプ ..... ナイトモード時(P.2-54)に点灯します。  
電源を入れると点灯し、起動が完了すると消灯します。  
※IPアドレスが取得できないなど、ネットワークに接続できない場合は、起動後、周期的な点滅がつづきます。  
※ネットワークに接続したあとは、切断状態になってもランプは点滅しません。
- ④ [LAN]ポート(LANケーブル) ... LANケーブルを接続します。
- ⑤ DCジャック(電源ケーブル) ..... ACアダプター(別売品)を接続します。
- ⑥ 〈RESET〉ボタン ..... ボタンを約15秒押しすと、本製品を出荷時の状態に戻します。  
詳しくは、3-4ページをご覧ください。
- ⑦ SDカードスロット ..... カバーをはずすと、microSDカードを挿入できます。(P.1-3)

# 1 ご使用になる前に

## 2. 接続や設置について

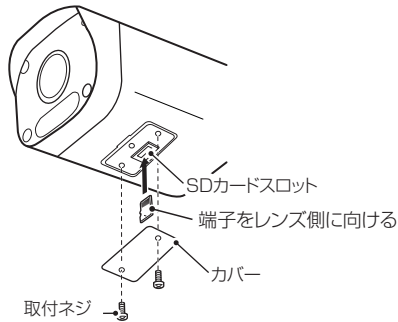
### ■ 本製品を固定するには

次の手順で取り付けます。

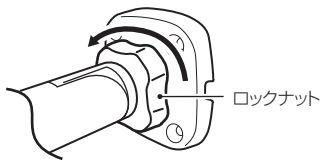
寸法図は、4-6ページをご覧ください。

1 SDカードスロットのカバーをはずします。

2 microSDカード(市販品)を挿入し、カバーを取り付けます。

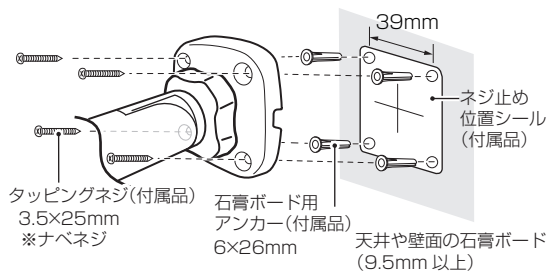


3 ロックナットを緩めます。

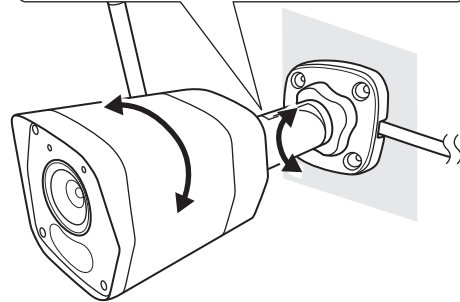
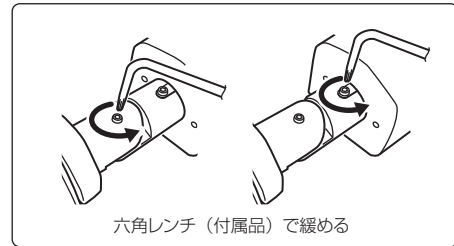


4 ネジ止め位置シール(付属品)を取付面に貼り、直径6mmの穴をドリルで4つ開けます。

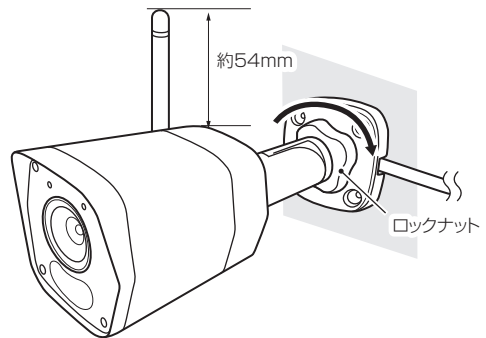
5 石膏ボード用アンカー(付属品)を穴に差し込み、タッピングネジ(付属品)で本製品本体を固定します。



6 カメラの角度を調整します。



7 ロックナットを回して固定します。



### ご注意

◎落下防止のため、付属のネジセットで、本製品を壁や天井にしっかり固定してください。振動がなく、落下の危険がない安定した場所に取り付けてください。

◎アンテナやmicroSDカードを使用する場合は、本体を壁や天井に固定する前に取り付けてください。

※取り付け後、パソコンを使用して、本製品の映像を確認されることをおすすめします。



# 1 ご使用になる前に

## 2. 接続や設置について

### ■ 設置場所について

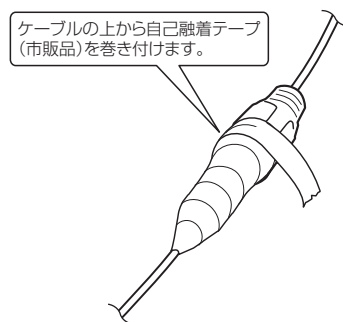
次の設置条件を考慮しないと、通信範囲や速度に影響します。

- ◎ 本製品と無線LAN機器の距離が近すぎると、データ通信でエラーが発生する場合があります。その場合は、本製品と無線LAN機器の距離を1m以上はなしてください。
- ◎ 振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所に設置してください。
- ◎ 床にはふつう、鋼製の梁が入っており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。そのため多くの場合、異なる階に設置した無線LANとは通信できません。
- ◎ なるべく見通しのよい(高い)場所に設置してください。
- ◎ 本製品の上にものを置いたり、本製品同士やほかの製品と重ねて置いたりしないでください。
- ◎ 通信範囲はオープンスペースで最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁などがあると、電波を反射することがあります。電波は壁やガラスをある程度通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれているため、電波を遮断するものがあります。ガラスの場合も、「熱線吸収ガラス」や「熱線反射ガラス」など、電波を遮断するものがあります。
- ◎ 無線通信距離は、設置場所や通信周波数によって異なりますが、屋内見通しで約30m、オープンスペースで約100mが目安です。

### ■ 防水処理について

屋外に設置したときなど、浸水防止のため、各ケーブルの接続部に防水処理をしてください。

※ 防水処理には、市販の自己融着テープなどをご用意ください。また、LANケーブル(市販品)は、抜け防止のため、ツメ折れ防止カバーの付いたものをおすすめします。



# 1 ご使用になる前に

## 3. 導入のしかた

### ■ 設定に使うパソコンを接続する

本製品の電源を入れ、ランプの点灯を確認します。

起動が完了すると、ランプは消灯します。

※IPアドレスが取得できないなど、ネットワークに接続できない場合は、起動後、周期的な点滅がつづきます。

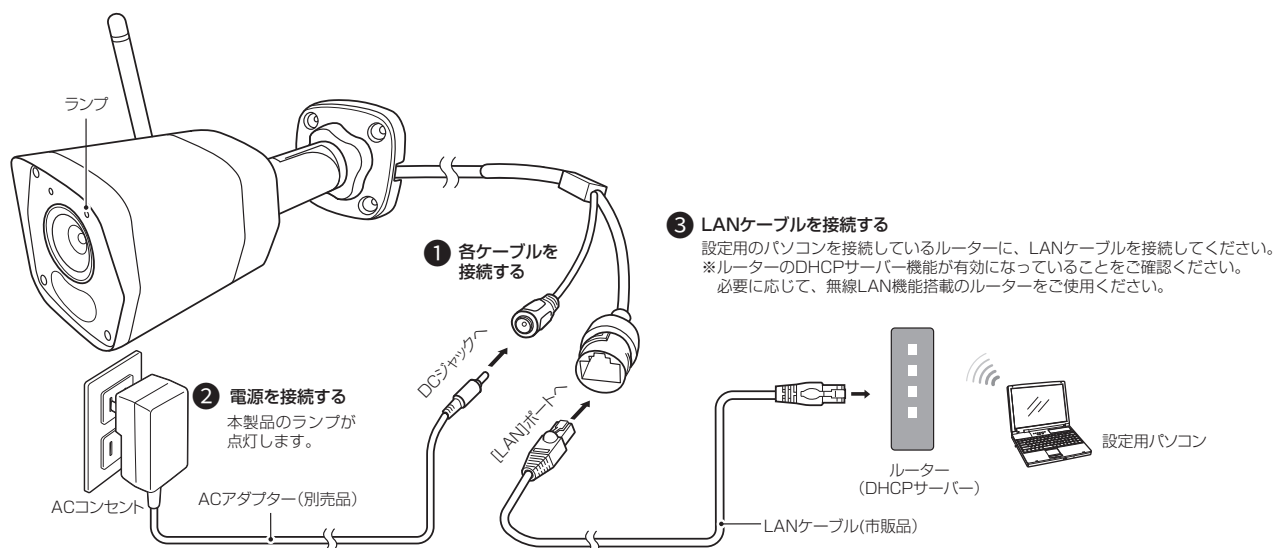
※ネットワークに接続したあとは、切断状態になってもランプは点滅しません。

※パソコンを使用して、本製品の設定をしてください。ソフトウェア、またはアプリの操作方法は、弊社ホームページに掲載の操作説明書をご覧ください。

※数日間テスト運用をして、正常に録画されるか確認することをおすすめします。

※本製品の各ケーブルを防水するための別売品はありません。

※屋外設置など防水処理には、市販の自己融着テープなどをご用意ください。また、LANケーブル(市販品)は、抜け防止のため、ツメ折れ防止カバーの付いたものをおすすめします。



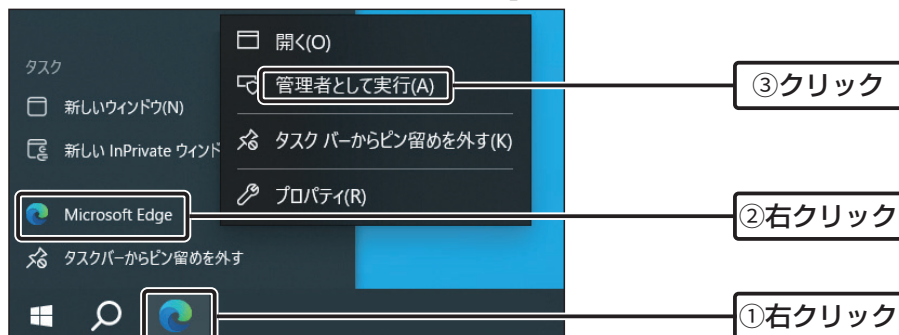
# 1 ご使用になる前に

## 3. 導入のしかた

### ■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがないネットワークを使用する場合)

DHCPサーバーがない環境で、本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする手順について説明します。

- 1 WWWブラウザとして、Microsoft Edgeを起動します。  
※起動するときは、下記のように「管理者として実行」を選択してください。

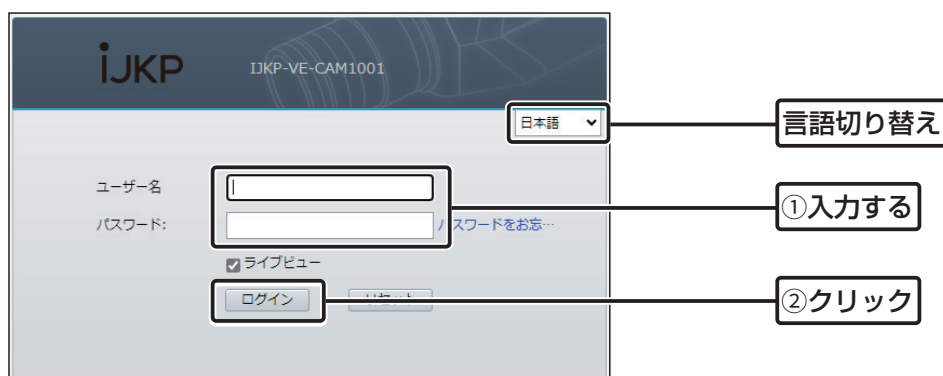


- 2 本製品に設定されたIPアドレスをWWWブラウザのアドレスバーに入力します。  
出荷時、本製品のIPアドレスは、「192.168.1.13」に設定されています。



- 3 [Enter]キーを押します。  
[ユーザー名]と[パスワード]の入力を求める画面が表示されます。

- 4 [ユーザー名]欄に「admin」、[パスワード]欄に「123456」(初期設定)を入力し、〈ログイン〉をクリックします。  
※言語を切り替える場合は、ログイン前に画面上部から言語を切り替えてください。  
※初回ログイン時は、パスワード変更画面が表示されます。(P.1-8)



#### ご注意

Microsoft Edgeで設定画面にアクセスするときに、プラグインが必要になります。  
ログイン後の画面上部に表示される「ダウンロード」をクリックして、プラグインをインストールしてください。

# 1 ご使用になる前に

## 3. 導入のしかた

### ■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがあるネットワークを使用する場合)

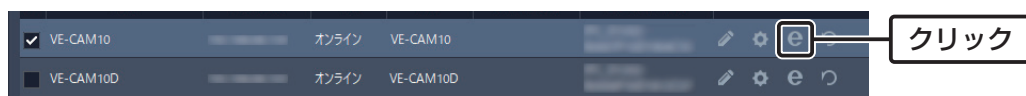
DHCPサーバーがある環境で、本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする手順について説明します。

1 「Guard Station」を起動します。

2 「デバイス管理」で本製品を登録し、[動作] 欄にある「e」をクリックします。

クリックすると、WWWブラウザが起動します。

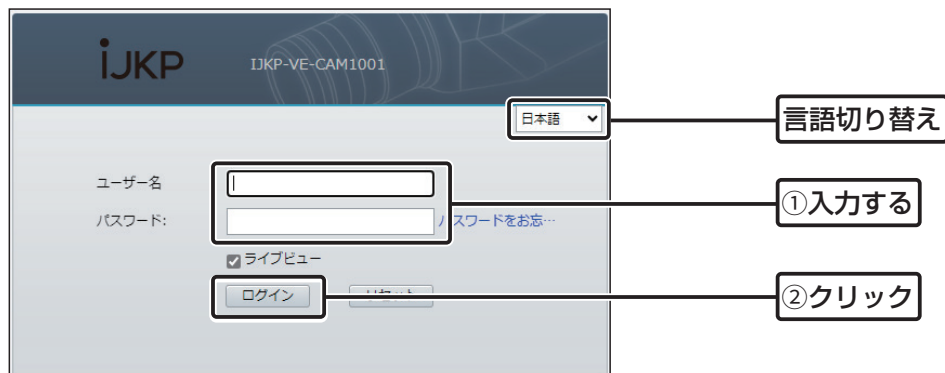
※本製品の登録については、Guard Stationの操作説明書をご覧ください。



3 [ユーザー名] 欄に「admin」、[パスワード] 欄に「123456」(初期設定)を入力し、〈ログイン〉をクリックします。

※言語を切り替える場合は、ログイン前に画面上部から言語を切り替えてください。

※初回ログイン時は、パスワード変更画面が表示されます。(P.1-8)



# 1 ご使用になる前に

## 3. 導入のしかた

### ■ パスワードを変更する

セキュリティ確保のため、初回ログイン時は、パスワードを変更する必要があります。

※IPアドレスと管理者パスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

- 1 [古いパスワード]、[パスワード]、[確認]欄に、大文字/小文字の区別に注意して、数字、アルファベット、特殊文字(! ? " # \$ % など)をそれぞれ1文字以上含めている任意の英数字/特殊文字(半角9文字以上、32文字以内)で入力し、〈確認〉をクリックします。

[古いパスワード]、[パスワード]、[確認]欄に入力した文字は、すべて\*(アスタリスク)、または●(黒丸)で表示されます。

The screenshot shows a 'パスワード変更' (Change Password) form. It includes fields for 'ユーザー名' (admin), 'ユーザータイプ' (管理者), '古いパスワード', 'パスワード', and '確認'. A 'メール' checkbox is checked. A strength indicator shows '弱 中 強'. A '確認' button is at the bottom. Annotations include '①入力する' pointing to the password fields and '②クリック' pointing to the '確認' button.

- 2 〈OK〉をクリックし、ログイン画面からログインします。

The screenshot shows a 'Web ページからのメッセージ' dialog box with a question mark icon. The text asks: 'パスワード変更後、再度ログインする必要があります。続行しますか？ (管理デバイスに追加した場合、デバイスのパスワードも編集する必要があります。)' There are 'OK' and 'キャンセル' buttons. An annotation 'クリック' points to the 'OK' button.

#### 不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字、アルファベット(大文字/小文字)、特殊文字を組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

# 1 ご使用になる前に

## 3. 導入のしかた

### ■ 本体IPアドレスを変更するときは

本製品のIPアドレスを変更するときは、既存のネットワークと重複しないように設定します。

- 1 「設定」をクリックします。



- 2 「ネットワーク」メニュー、「基本設定」の順にクリックします。

- 3 [IPアドレスを取得]欄で[固定IP]を選択し、[IPアドレス]項目、[サブネットマスク]項目の設定を変更して<保存>をクリックします。

The IPv4 configuration page is shown with three callouts: '①選択する' (Select) pointing to the 'IPアドレスを取得' dropdown menu which is set to '固定IP'; '②入力する' (Input) pointing to the 'IPアドレス' and 'サブネットマスク' input fields which contain '192.168.1.13' and '255.255.255.0' respectively; and '③クリック' (Click) pointing to the '保存' (Save) button at the bottom left.

IPv4	
IPアドレスを取得	固定IP
IPアドレス	192.168.1.13
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

IPv6	
モード	手動
住所	
プレフィクス長	64
デフォルトゲートウェイ	

基本	
MTU	1500
ポートタイプ	FEポート
操作モード	オート

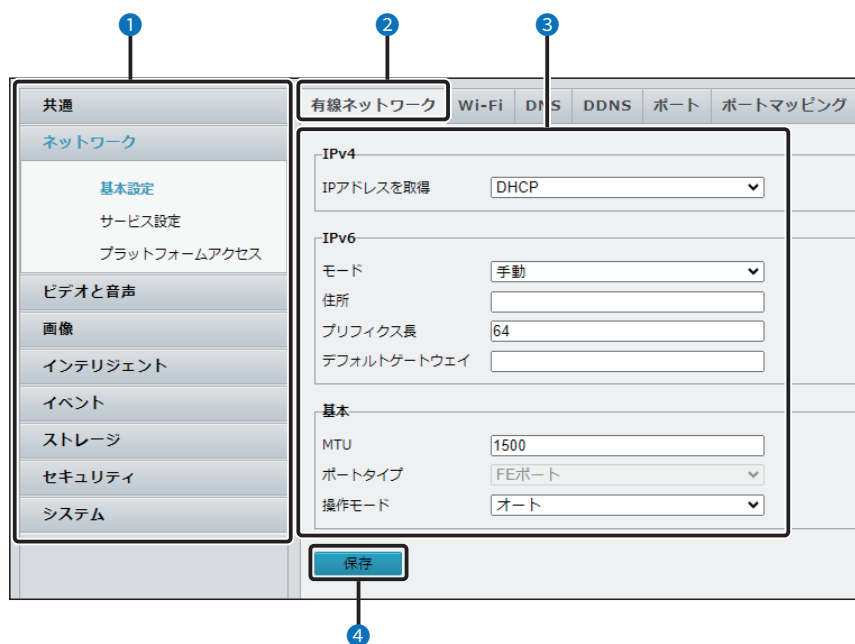
保存

# 1 ご使用になる前に

## 3. 導入のしかた

### ■ 設定画面の名称と機能について

管理者用の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。  
設定画面の構成について詳しくは、4-3ページをご覧ください。



- ① 設定画面選択メニュー …………… 各メニューのタイトル上にマウスポインターを合わせてクリックすると、そのメニュー項目名を表示します。
- ② 設定タブ …………… [設定画面選択メニュー]で選択したメニュー項目名(例：ネットワーク/基本設定)をクリックすると、メニュー項目名に含まれるタブが表示します。
- ③ 設定画面表示エリア …………… [設定画面選択メニュー]で選択したメニュー項目名(例：ネットワーク/基本設定)、または[設定タブ]で選択したタブ(例：有線ネットワーク)をクリックしたとき、その内容を表示します。
- ④ 設定ボタン …………… 設定した内容の登録や取り消しをします。  
※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

# 1 ご使用になる前に

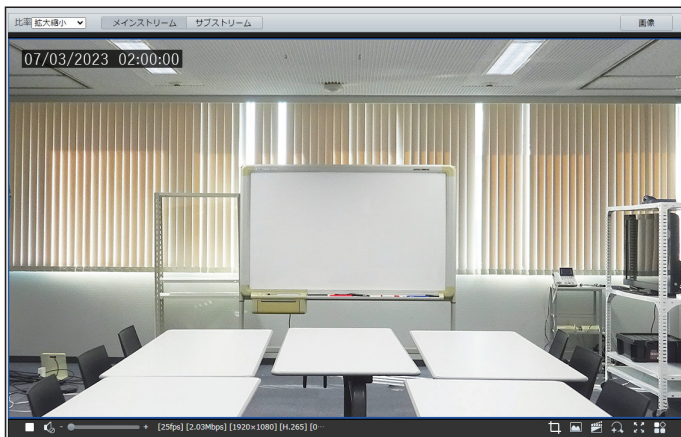
## 4. 映像を確認する

- 1 「ライブビュー」をクリックします。



クリック

- 2 カメラの映像を確認します。  
「ライブビュー」画面の説明については、2-4ページをご覧ください。





# 1 ご使用になる前に

## 5. 時間を設定する

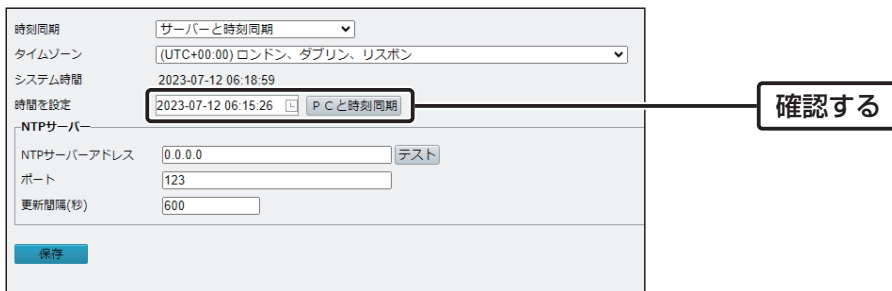
本製品の内部時計の設定手順について説明します。

- 1 「設定」をクリックします。

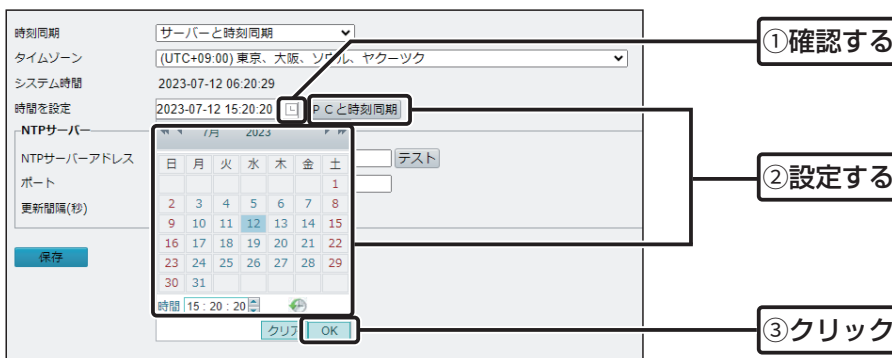


- 2 「共通」メニュー、「時間」項目の順にクリックします。

- 3 [システム時間] 欄の日時を確認します。  
日時を変更する場合は、手順4に進みます。



- 4 [時間を設定] 欄にある「」をクリックして、日時を設定します。  
(PCと時刻同期)をクリックすると、パソコンに設定されている日時と同期します。



- 5 「保存」をクリックします。

# 1 ご使用になる前に

## 6. ローカル録画をする

ローカル録画をする手順について説明します。

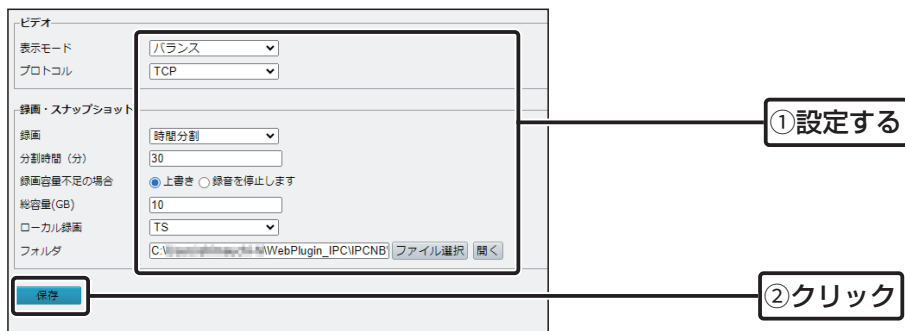
- 1 「設定」をクリックします。



- 2 「共通」メニュー、「ローカルパラメータ」の順にクリックします。

- 3 録画の設定をします。

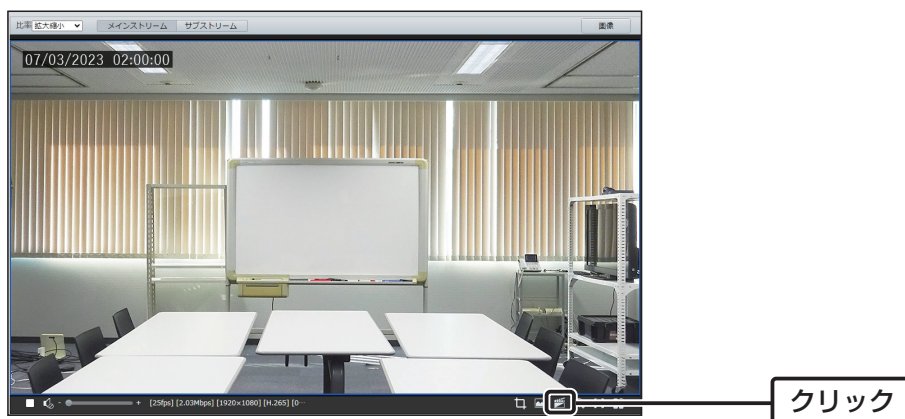
設定の説明については、2-14ページ～2-15ページをご覧ください。



- 4 「ライブビュー」をクリックします。

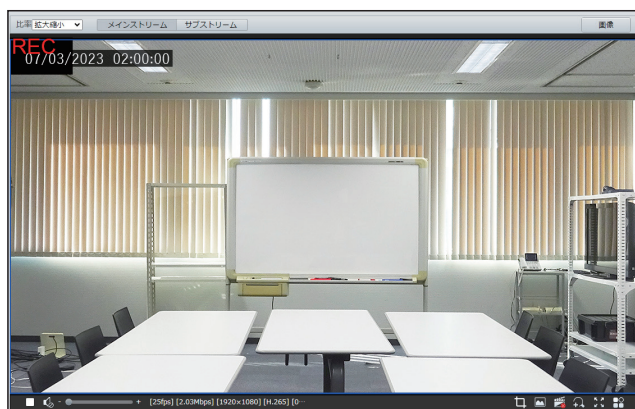


- 5 「REC」をクリックします。



- 6 録画中は画面左上に「REC」が点滅し、「REC」が「REC」に変わります。

※録画を停止するときは、「REC」をクリックします。



# 1 ご使用になる前に

## 7. 自動で録画する

本製品に microSD カードが挿入されている場合に自動で録画する手順について説明します。

### ■ 常時録画をする

常に録画する手順について説明します。

1 「設定」をクリックします。



2 「ストレージ」メニュー、「ストレージ」画面の順にクリックします。

3 [映像ストレージ情報] 欄で「マニュアル録画」を選択して、「保存」をクリックします。



# 1 ご使用になる前に

## 7. 自動で録画する

### ■ スケジュール録画をする

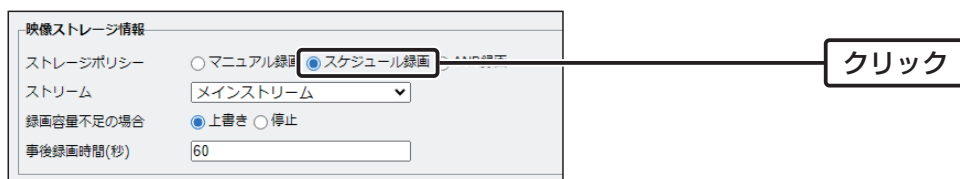
録画する期間を設定したい場合の手順について説明します。

- 1 「設定」をクリックします。

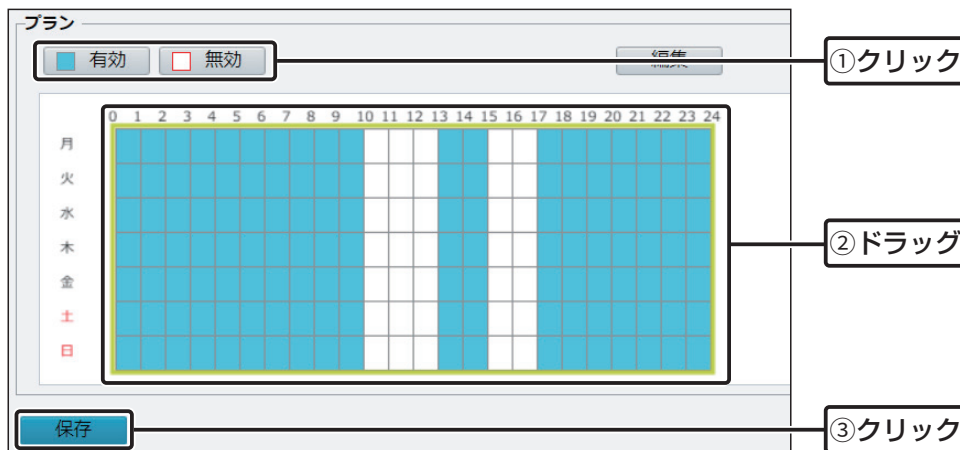


- 2 「ストレージ」メニュー、「ストレージ」画面の順にクリックします。

- 3 [映像ストレージ情報] 欄で「スケジュール録画」を選択します。



- 4 [プラン] 欄の〈有効〉、または〈無効〉をクリックし、枠内をドラッグしてスケジュール録画をする時間と曜日を設定します。



# 1 ご使用になる前に

## 8. 録画を再生する

microSDカードに保存されている録画ファイルを再生します。

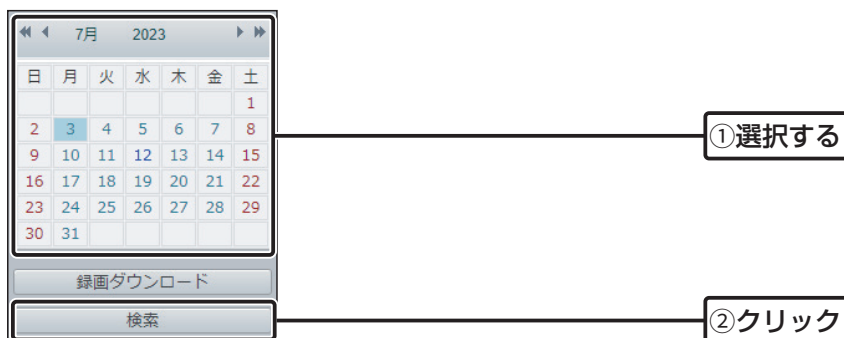
※ microSDカードに保存されている録画ファイルをパソコンに保存する場合は、「再生」画面にある〈録画ダウンロード〉からパソコンへ保存してください。

microSDカードから直接パソコンに録画ファイルを保存しても、再生できません。

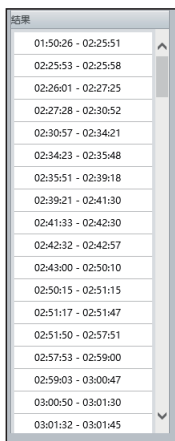
1 「再生」をクリックします。



2 確認したい年月日を選択して〈検索〉をクリックします。



3 検索結果が[結果]欄に表示されます。



4 表示されているファイルをダブルクリックすると、再生されます。



この章では、  
各メニューで表示される設定画面について説明します。

---

「ライブビュー」画面	2-4
■ ステータスバー	2-5
■ ツールバー	2-5
■ 一般パラメータ	2-6
「再生」画面	2-8
■ 録画ダウンロード	2-9
「写真」画面	2-10

## 共通

---

「基本情報」画面	2-11
■ 基本情報	2-11
■ バージョン情報	2-11
■ 状態	2-11
■ 共通設定	2-12
「ローカルパラメータ」画面	2-13
■ ビデオ	2-13
■ 録画・スナップショット	2-14
有線ネットワーク	2-16
■ 「有線ネットワーク」タブ	2-16
「時間」画面	2-18
■ 「時間」タブ	2-18
■ NTPサーバー	2-19
■ 「サマータイム」タブ	2-19
「プラットフォームアクセス」画面	2-20
■ 「P2P」タブ	2-20
「OSD」画面	2-21
■ 「ライブビュー」タブ	2-21
■ 表示形式	2-22
「ユーザー」画面	2-23
■ 「ユーザー」タブ	2-23
■ 編集	2-24

## ネットワーク

---

「基本設定」画面	2-25
■ 「有線ネットワーク」タブ	2-25
■ 「Wi-Fi」タブ	2-26
■ ネットワーク状態	2-26
■ Wi-Fiネットワーク	2-27
■ Wi-Fi	2-28
■ 「DNS」タブ	2-30
■ 「DDNS」タブ	2-31
■ 「ポート」タブ	2-32
■ 「ポートマッピング」タブ	2-33

## 2 設定画面について

下記は、前ページからの「つづき」です。

---

「サービス設定」画面	2-35
■ 送信者	2-35
■ 受信者	2-36
■ 「SNMP」タブ	2-37
■ 「QoS」タブ	2-38
「プラットフォームアクセス」画面	2-39
■ 「P2P」タブ	2-39

### ビデオ

---

「ビデオ」画面	2-40
■ 「ビデオ」タブ	2-40
■ メインストリーム/サブストリーム	2-41
「スナップショット」画面	2-43
■ 「スナップショット」タブ	2-43
■ スナップショットスケジュール	2-44
「音声」画面	2-45
■ 「音声」タブ	2-45
「ROI」画面	2-46
■ 「ROI」タブ	2-46
「メディアストリーム」画面	2-47
■ 「メディアストリーム」タブ	2-47
■ メディアストリーム追加	2-48
■ 「RTSPマルチキャストアドレス」タブ	2-49

### 画像

---

「画像」画面	2-50
■ シーン	2-50
■ 画像補正	2-51
■ 露出	2-52
■ スマート照明	2-56
■ ホワイトバランス	2-57
■ 詳細設定	2-58
「OSD」画面	2-59
■ 「ライブビュー」タブ	2-59
「プライバシーマスク」画面	2-60
■ 「プライバシーマスク」タブ	2-60

### インテリジェント

---

「スマート」画面	2-61
■ 「人体検出」タブ	2-61
■ 連動動作	2-62
■ プラン	2-63
■ 編集	2-64

## 2 設定画面について

下記は、前ページからの「つづき」です。

### イベント

「標準アラーム」画面	2-65
■ 「動体検知」タブ	2-65
■ 連動動作	2-66
■ スケジュール	2-66
■ 「改ざんアラーム」タブ	2-67
■ 連動動作	2-67
■ スケジュール	2-67
■ 音声検知	2-68
■ 連動動作	2-69
■ スケジュール	2-69

### ストレージ

「ストレージ」画面	2-70
■ 「ストレージ」タブ	2-70
■ 容量割り当て	2-70
■ 映像ストレージ情報	2-71
■ プラン	2-72
「FTP」画面	2-73
■ サーバーパラメーター	2-73
■ スナップショットイメージ	2-74

### セキュリティ

「ユーザー」画面	2-75
■ 「ユーザー」タブ	2-75
「ネットワークセキュリティ」画面	2-76
■ 「HTTPS」タブ	2-76
■ 「認証」タブ	2-76
■ 「ARP保護」タブ	2-77
■ 「IPアドレスフィルタリング」タブ	2-78
■ 「アクセス方式」タブ	2-78
「登録情報」画面	2-79
■ 「登録情報」タブ	2-79
「ウォーターマーク」画面	2-80
■ 「ウォーターマーク」タブ	2-80

### システム

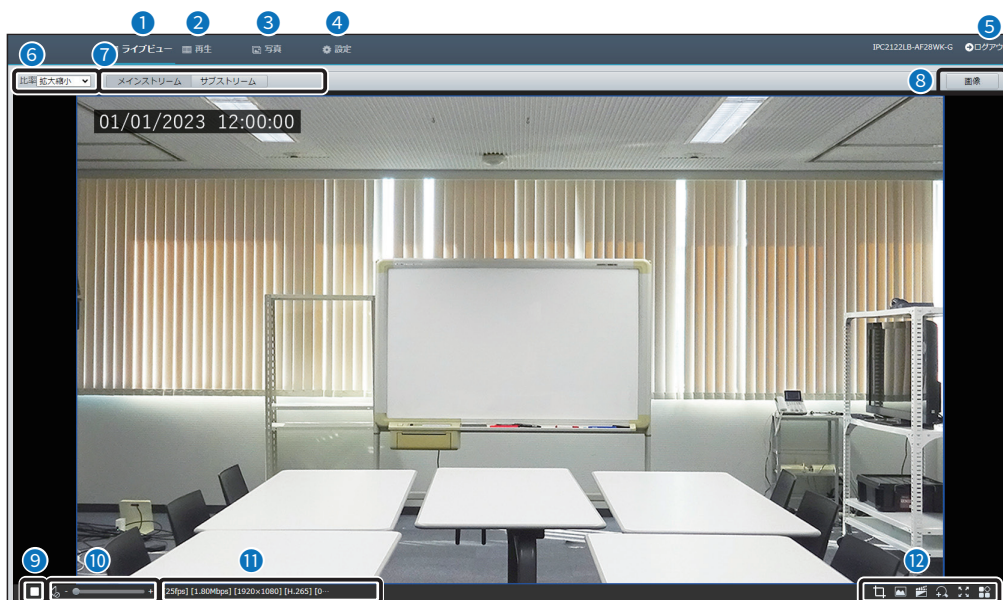
「時間」画面	2-81
■ 「時間」タブ	2-81
■ サマータイム	2-81
「メンテナンス」画面	2-82
■ ファームウェア更新	2-82
■ 設定管理	2-83
■ 診断情報	2-84
■ デバイス再起動	2-84



## 2 設定画面について

### 「ライブビュー」画面

カメラの映像を確認できます。  
※確認するには、下記の数字部分をクリックします。

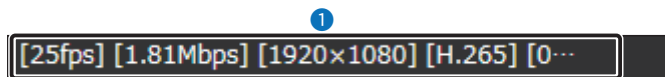


- |                            |   |
|----------------------------|---|
| ① ライブビュー                   | 「ライブビュー」画面を表示します。                                     |
| ② 再生                       | 「再生」画面を表示します。(P.2-8)                                  |
| ③ 写真                       | 「写真」画面を表示します。(P.2-10)                                 |
| ④ 設定                       | 設定画面を表示します。(P.2-11)                                   |
| ⑤ ログアウト                    | ログイン画面を表示します。   |
| ⑥ 比率                       | 「ライブビュー」画面に表示されるカメラの縦横比を設定します。                        |
| ⑦ <メインストリーム>/<br><サブストリーム> | ストリーム配信や録画する条件の設定です。<br>ストリームの設定については、2-41ページをご覧ください。 |
| ⑧ <画像>                     | 設定画面の「画像」画面(P.2-50)を表示します。                            |
| ⑨ 再生/停止                    | クリックするごとに、カメラ映像の「ライブビュー」画面への表示と非表示を切り替えます。            |
| ⑩ 消音/音量                    | ミュート/音量を調整します。  |
| ⑪ ステータスバー                  | 表示されている映像の情報を表示します。(P.2-5)                            |
| ⑫ ツールバー                    | 映像を撮影、録画、ズームなどの操作をします。(P.2-5)                         |

## 2 設定画面について

### 「ライブビュー」画面

#### ■ ステータスバー



- ① ステータス ..... 左から、フレームレート(fps)、ビットレート(Kbps)、ビデオ圧縮形式(H.265、H.264、MJPEG)、解像度、パケットロス率(%)が表示されます。

#### ■ ツールバー



- ① ピクセルの計算 ..... 選択した範囲のピクセル(幅/高さ)を表示します。
- ② スナップショット ..... クリックしたときの映像がパソコンに保存されます。
- ③ パソコンへの録画開始/停止 ..... クリックすることにより、映像の録画と停止を切り替えます。
- ④ デジタルズームを有効/無効 ..... クリックすることにより、ズームの有効と無効を切り替えます。
- ⑤ 全画面表示 ..... 「ライブビュー」画面を画面全体に表示します。
- ⑥ コントロールパネル ..... クリックすることにより、コントロールパネルの表示と非表示を切り替えます。

## 2 設定画面について

### ■ 一般パラメータ



- ① 輝度 ..... 画像の明るさを設定します。
- ② 彩度 ..... 色に含まれる色相の量を設定します。
- ③ コントラスト ..... 最も白い部分と最も黒い部分の差異を設定します。  
数値が大きいほど、差異を大きくします。
- ④ シャープネス ..... 輪郭の強弱を調整します。
- ⑤ 露出モード ..... 露出効果の設定をします。
- 自動  
環境に応じて露出を自動的に調整します。
  - カスタム  
必要に応じて露出を設定します。
  - 屋内50Hz/屋内60Hz  
屋内に設置している場合、蛍光灯の周波数に合わせて設定します。  
通常、東日本は屋内50Hz、西日本は屋内60Hzに設定します。
  - 手動  
[シャッター(秒)] (⑥) 欄を手動で設定して、画質を微調整します。
  - 低モーションブラー  
動体を録画した場合のブレを減らすために、シャッター速度を制御します。

## 2 設定画面について

### ■ 一般パラメータ(つづき)

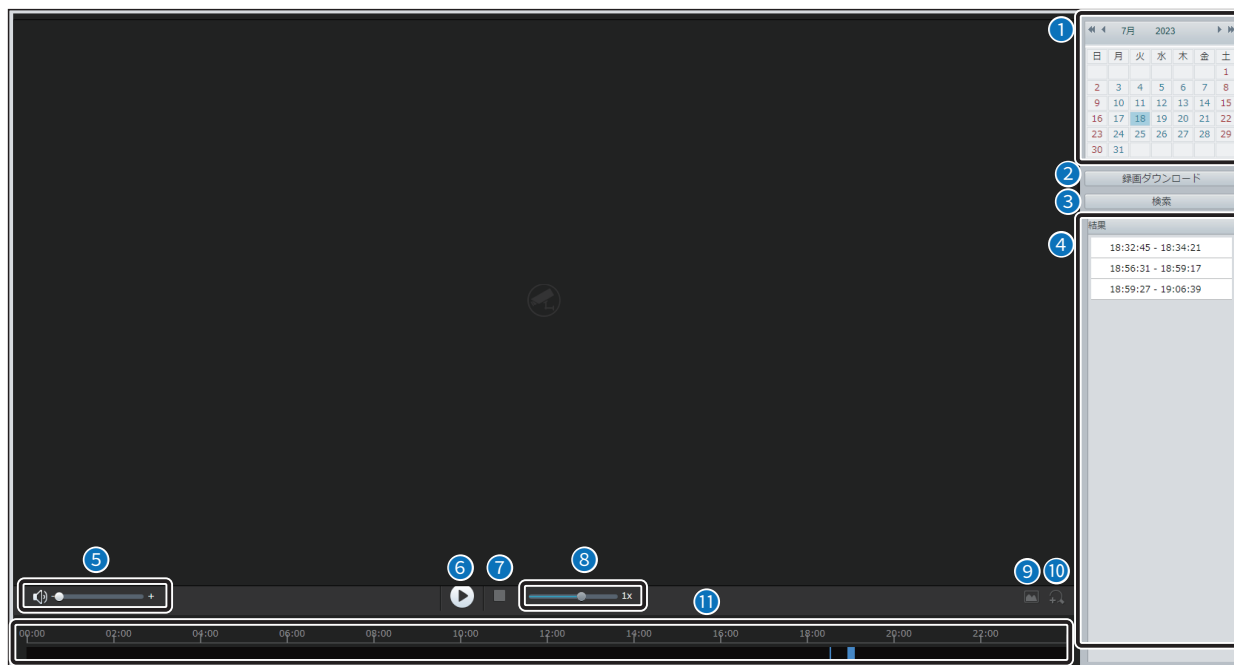


- ⑥ シャッター(秒) ..... レンズに入る光を制御するために使用されます。シャッターを速く設定した場合は、動きの速いシーン、シャッターを遅く設定した場合は、ゆっくりと変化するシーンに設定します。  
※ [露出モード] (⑤) 欄が「カスタム」、「手動」、または「低モーションブラー」に設定されている場合のみ設定できます。
- ⑦ WDR ..... 同じ画像の明るい部分と暗い部分を区別するかを設定します。
- ⑧ WDRレベル ..... WDRレベルを調整して画像を改善できます。  
※ [WDR] (⑦) 欄を「ON」または「自動」に設定した場合のみ設定できます。  
※ シーンの明るい部分と暗い部分のコントラストが高い場合は、レベル7以上を使用してください。低いコントラストの場合は、WDRを無効にするか、レベル1～6を使用することをおすすめします。
- ⑨ リセット ..... 一般パラメータの設定をリセットします。

## 2 設定画面について

### 「再生」画面

microSDカードに保存されている録画映像を再生します。



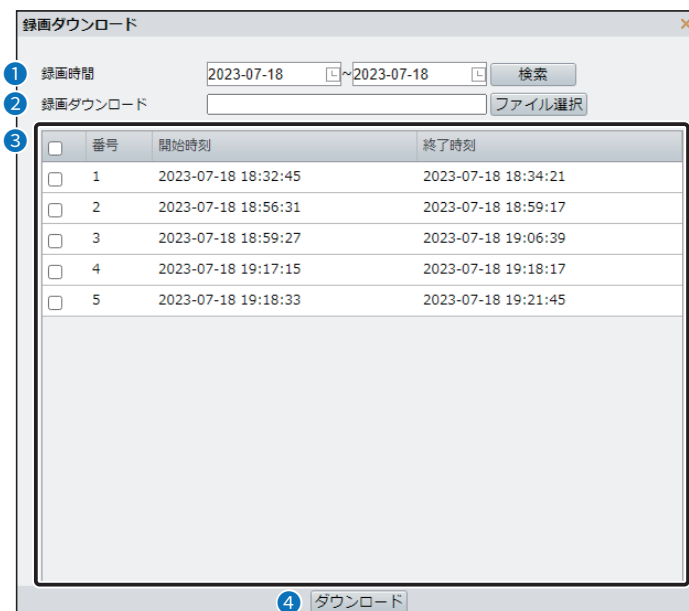
- ① カレンダー ..... 確認する録画映像の日付をクリックします。
- ② 〈録画ダウンロード〉 ..... microSDカードに保存されている録画ファイルをパソコンにコピーします。(P.2-9)
- ③ 〈検索〉 ..... クリックすると、[カレンダー] (①) 欄で指定した日付の録画ファイルを検索します。
- ④ 結果 ..... クリックすると、[カレンダー] (①) 欄で指定した日付の録画ファイルだけが表示されます。  
そのファイルをダブルクリックすると、録画ファイルが再生されます。
- ⑤ 消音/音量 ..... ミュート/音量を調整します
- ⑥ 再生/一時停止 ..... クリックごとに、録画映像の再生と一時停止を切り替えます。
- ⑦ 停止 ..... 録画映像の再生を停止します。
- ⑧ 再生速度 ..... 録画映像の再生速度を変更します。
- ⑨ スナップショット ..... 再生中にクリックした録画映像の1コマをパソコンに保存します。
- ⑩ デジタルズームを有効 ..... クリックするごとに、デジタルズームの有効と無効を切り替えます。
- ⑪ 再生スクロールバー ..... クリックした位置から録画映像の再生を開始します。

## 2 設定画面について

「再生」画面

### ■ 録画ダウンロード

microSDカードに保存されている録画ファイルをパソコンへコピーします。

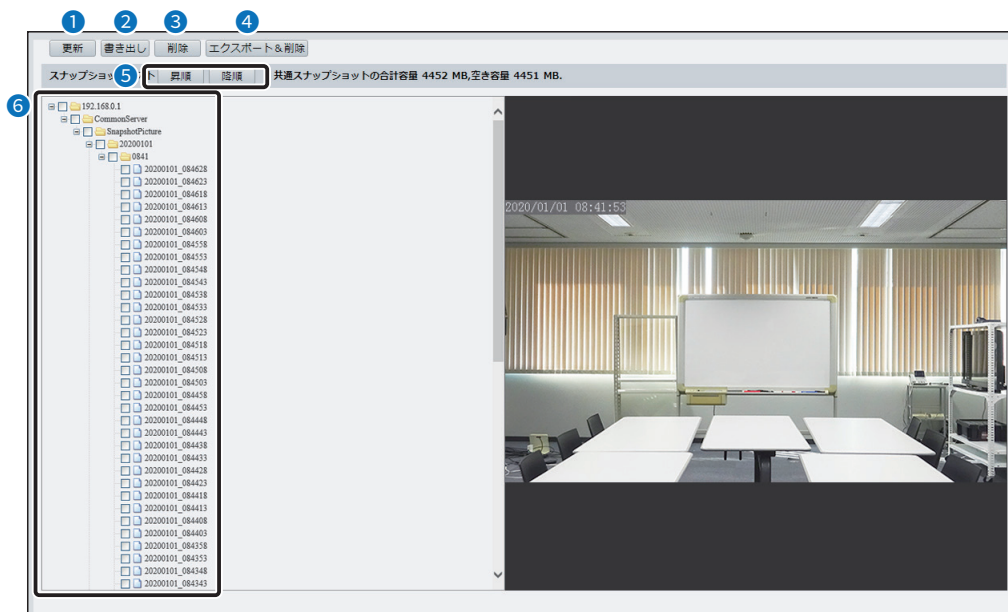


- ① 録画時間 ..... 保存する録画ファイルの日付を選択します。  
<検索>をクリックすると、指定した日付の録画ファイルを検索します。
- ② 録画ダウンロード ..... 録画ファイルをコピーするフォルダを選択します。  
<ファイル選択>をクリックして、表示された画面で録画ファイルを保存するフォルダを選択します。
- ③ 録画リスト ..... 保存する録画ファイルを選択します。
- ④ <ダウンロード> ..... クリックすると、[録画リスト](③)欄で選択した録画ファイル(拡張子：ts)が保存されます。

## 2 設定画面について

### 「写真」画面

microSDカードに保存されているスナップショットの確認やパソコンに保存します。



- ① <更新> ..... [スナップショットリスト] ⑥欄を最新の状態にするボタンです。
- ② <書き出し> ..... [スナップショットリスト] ⑥欄でチェックマークを入れたスナップショットをパソコンへ保存するボタンです。
- ③ <削除> ..... [スナップショットリスト] ⑥欄でチェックマークを入れたスナップショットを削除するボタンです。
- ④ <エクスポート&削除> ..... [スナップショットリスト] ⑥欄でチェックマークを入れたスナップショットをパソコンへ移動して、microSDカードから削除するボタンです。
- ⑤ <昇順>/<降順> ..... 保存されているスナップショットの昇順と降順を選択するボタンです。
- ⑥ スナップショットリスト ..... microSDカードに保存されているスナップショットが表示されます。ファイルをクリックすると、スナップショットの写真を確認できます。

## 2 設定画面について

### 「基本情報」画面

共通 > 基本情報 > 基本情報

#### ■ 基本情報

型番、ネットワークの情報などが表示されます。

基本情報	
型番	IP01111111-IP020000-00
IPv4ネットワーク情報	192.168.0.100/24 (192.168.0.100/24)
Macアドレス	08:00:27:00:00:00

#### ■ バージョン情報

ファームウェアのバージョン情報などが表示されます。

バージョン情報	
ファームウェアバージョン	0000-0000-0000-0000-0000-0000
ハードウェアバージョン	00
ブートバージョン	00.00
シリアル番号	000000000000000000000000

#### ■ 状態

本製品の内部時計と稼働時間が表示されます。

状態	
システム時間	2023/7/12 08:41:09
稼働時間	0日 2時 51分



## 2 設定画面について

### 「基本情報」画面

共通 > 基本情報 > 基本情報

#### ■ 共通設定

各アイコンをクリックすると、「共通」メニューにある設定画面に移動します。



- |                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| ① 有線ネットワーク .....     | 「有線ネットワーク」画面に移動します。(P.2-16) |
| ② 時間 .....           | 「時間」画面に移動します。(P.2-18)       |
| ③ プラットフォームアクセス ..... | 「P2P」画面に移動します。(P.2-20)      |
| ④ OSD .....          | 「OSD」画面に移動します。(P.2-21)      |
| ⑤ ユーザー .....         | 「ユーザー」画面に移動します。(P.2-23)     |

## 2 設定画面について

### 「ローカルパラメータ」画面

共通 > ローカルパラメータ > ローカルパラメータ

#### ■ ビデオ

「ライブビュー」画面(P.2-4)で映像を確認するときの、画質、遅延、配信時のプロトコルについて設定します。

ビデオ	
1 表示モード	バランス
2 プロトコル	TCP

1 表示モード ..... 映像画質と映像遅延を設定します。

◎ 遅延最小

遅延を最小化して映します。

ネットワークの状態が良好のときに設定します。

◎ バランス

ネットワークの状態に合わせてバランスよく映します。

◎ なめらか

映像の遅延時間を短くしたいときに設定します。

◎ カスタム

手動(6～25)で設定します。

値が大きいほど映像が滑らかになりますが、遅延時間が長くなります。

2 プロトコル ..... 使用するネットワーク環境やポリシーなどの理由に応じて、送信プロトコルを設定します。

## 2 設定画面について

### 「ローカルパラメータ」画面

共通 > ローカルパラメータ > ローカルパラメータ

#### ■ 録画・スナップショット

「ライブビュー」画面の<スナップショット>(P.2-5)、<パソコンへの録画開始>(P.2-5)、「再生」画面の<スナップショット>(P.2-8)で保存されるファイルの設定をします。

時間分割設定時

録画・スナップショット

① 録画	時間分割
② 分割時間(分)	30
③ 録画容量不足の場合	<input checked="" type="radio"/> 上書き <input type="radio"/> 録音を停止します
④ 総容量(GB)	10
⑤ ローカル録画	TS
⑥ フォルダ	C:\Users\administrator\AppData\Local\Temp\1\WebPlugin_IPC\IPCNB
⑦ 保存	<input type="button" value="ファイル選択"/> <input type="button" value="開く"/>

※ 上図は、[録画] (①) 欄で「時間分割」を選択したときの画面です。

サイズ分割設定時

録画・スナップショット

① 録画	サイズ分割
分割サイズ(MB)	100

※ 上図は、[録画] (①) 欄で「サイズ分割」を選択したときの画面です。

- ① 録画 ..... 録画ファイルの分割方法を設定します。
- ◎時間分割  
設定した時間ごとに録画ファイルを保存します。
  - ◎サイズ分割  
設定したサイズごとに録画ファイルを保存します。
- ② 分割時間(分) ..... 1つの録画ファイルにつき何分まで保存するか設定します。
- ③ 録画容量不足の場合 ..... [総容量(GB)] (④) 欄で設定した容量を超えた場合の録画処理について設定します。
- ◎上書き  
既存の録画ファイルを削除して、新しい録画ファイル用の容量を作ります。
  - ◎録音を停止します  
録音を停止します。

## 2 設定画面について

### 「ローカルパラメータ」画面

共通 > ローカルパラメータ > ローカルパラメータ

#### ■ 録画・スナップショット(つづき)

時間分割設定時

録画・スナップショット

① 録画	時間分割
② 分割時間(分)	30
③ 録画容量不足の場合	<input checked="" type="radio"/> 上書き <input type="radio"/> 録音を停止します
④ 総容量(GB)	10
⑤ ローカル録画	TS
⑥ フォルダ	C:\ProgramData\...WebPlugin_IPC\IPCNB
	<input type="button" value="ファイル選択"/> <input type="button" value="開く"/>
⑦	<input type="button" value="保存"/>

※ 上図は、[録画] (①) 欄で「時間分割」を選択したときの画面です。

サイズ分割設定時

録画・スナップショット

① 録画	サイズ分割
分割サイズ(MB)	100

※ 上図は、[録画] (①) 欄で「サイズ分割」を選択したときの画面です。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| ④ 総容量(GB) ..... | [フォルダ] (⑥) 欄で設定したフォルダに保存するファイルの総容量を設定します。  |
| ⑤ ローカル録画 .....  | 録画ファイルの保存形式が表示されます。  |
| ⑥ フォルダ .....    | 録画を保存する場所を設定します。<br><ファイル選択>をクリックして、保存する場所を選択します。<br><開く>をクリックすると、テキストボックスに表示されているフォルダを開きます。 |
| ⑦ <保存> .....    | 「ローカルパラメータ」タブで設定した内容を保存します。  |

### 有線ネットワーク

共通 > 有線ネットワーク > 有線ネットワーク

#### ■ 「有線ネットワーク」タブ

本製品のIPアドレスなどの通信設定を変更します。

※ [IPアドレスを取得] (1) 欄を「固定IP」に設定した画面を例に説明しています。

※ 「ネットワーク」メニューの「基本設定」画面にある「有線ネットワーク」タブと同じ設定項目です。

- 1 IPアドレスを取得 ..... IPアドレス(IPv4)の取得方法を設定します。
- 固定IP  
DHCPサーバーから取得しないとき、[IPアドレス](2) 欄で入力したIPアドレスを使用します。
  - DHCP  
IPアドレスをDHCPサーバーから自動取得します。
- 2 IPアドレス ..... 本製品のIPアドレス(IPv4)を入力します。  
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。  
※ [IPアドレスを取得] (1) 欄を「固定IP」に設定している場合のみ設定できます。
- 3 サブネットマスク ..... 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。  
※ 本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。  
※ [IPアドレスを取得] (1) 欄を「固定IP」に設定している場合のみ設定できます。
- 4 デフォルトゲートウェイ ..... 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。  
※ 本製品と同じIPアドレスは登録できません。  
※ [IPアドレスを取得] (1) 欄を「固定IP」に設定している場合のみ設定できます。

## 2 設定画面について

### 「有線ネットワーク」画面

共通 > 有線ネットワーク > 有線ネットワーク

#### ■ 「有線ネットワーク」タブ(つづき)

- ⑤ モード ..... IPアドレス(IPv6)の取得方法を設定します。
- ◎手動  
IPアドレスを手動で入力します。
- ⑥ 住所 ..... 本製品のIPアドレス(IPv6)を入力します。
- ⑦ プリフィックス長 ..... ネットワークアドレスの長さ(3～127)を指定します。
- ⑧ MTU ..... ネットワークを通じて送信するフレームサイズの上限を設定します。
- ⑨ 〈保存〉 ..... 「有線ネットワーク」タブで設定した内容を保存します。

### 「時間」画面

共通 > 時間 > 時間

#### ■ 「時間」タブ

本製品の内部時計を設定します。

※「システム」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。

① 時刻同期	サーバーと時刻同期
② タイムゾーン	(UTC+09:00) 東京、大阪、ソウル、ヤクーツク
③ システム時間	2023-07-12 09:41:37
④ 時間を設定	2023-07-12 18:40:53 <input type="button" value="PCと時刻同期"/>

- ① 時刻同期 ..... 時刻を同期する方法を選択します。
- システム設定と同期  
[時間を設定] (④) 欄で設定した時刻と同期します。
  - NTPサーバーと同期  
NTPサーバーの時刻と同期します。
  - ONVIFアクセス時間と同期する  
管理サーバーの時刻と同期します。
  - サーバーと時刻同期  
管理しているNVRの時刻と同期します。
  - クラウドサーバーと同期  
クラウドサーバーの時刻と同期します。
- ② タイムゾーン ..... 本製品の内部時計で使用するタイムゾーンを設定します。
- ③ システム時間 ..... 本製品に設定されている時刻が表示されます。
- ④ 時間を設定 ..... 本製品の内部時刻を設定します。  
<PCと時刻同期>をクリックすると、パソコンに設定されている時刻と同期します。  
※ [時刻同期] (①) 欄を「サーバーと時刻同期」、または「システム設定と同期」に設定している場合のみ設定できます。

## 2 設定画面について

### 「時間」画面

共通 > 時間 > 時間

#### ■ NTPサーバー

※「システム」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。

NTPサーバー	
1 NTPサーバーアドレス	0.0.0.0 <input type="button" value="テスト"/>
2 ポート	123
3 更新間隔(秒)	600

- 1 NTPサーバーアドレス ..... NTPサーバーのアドレスを設定します。  
〈テスト〉をクリックすると、設定したNTPサーバーに接続できるかテストします。
- 2 ポート ..... NTPサーバーのポート番号(1～65535)を設定します。
- 3 更新間隔(秒) ..... NTPサーバーと同期する間隔を設定します。

共通 > 時間 > サマータイム

#### ■ 「サマータイム」タブ

設定した期間内だけ時刻を進めます。

※「システム」メニューの「時間」画面にある「サマータイム」タブと同じ設定項目です。

サマータイム	
1 サマータイム	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
2 開始時刻	4月 第1 日 02 時
3 終了時刻	10月 最終 日 02 時
4 サマータイム調整	60分
5	<input type="button" value="保存"/>

- 1 サマータイム ..... サマータイム機能をON/OFFします。
- 2 開始時刻 ..... サマータイム機能を開始する日時を設定します。  
※ [サマータイム] (1) 欄を「ON」に設定しているときだけ設定できます。
- 3 終了時刻 ..... サマータイム機能を終了する日時を設定します。  
※ [サマータイム] (1) 欄を「ON」に設定しているときだけ設定できます。
- 4 サマータイム調整 ..... 本製品の内部時計からどのくらい進めるかを設定します。  
※ [サマータイム] (1) 欄を「ON」に設定しているときだけ設定できます。
- 5 〈保存〉 ..... [サマータイム]項目で設定した内容を保存します。



## 2 設定画面について

### 「プラットフォームアクセス」画面

共通 > プラットフォームアクセス > P2P

#### ■ 「P2P」タブ

P2P通信の情報を表示します。

The screenshot shows the P2P settings interface. It includes a list of settings on the left and their corresponding values on the right. A QR code is displayed under the 'スキャン' (Scan) setting. A '保存' (Save) button is located at the bottom left.

1 P2P	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
2 サインアップなしで追加	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
3 アドレス	<a href="http://ap1.star4live.com">ap1.star4live.com</a>
4 登録コード	3165ABDLO37G8RLPSM606QEXG
5 デバイス状態	オンライン <input type="button" value="ログアウト"/>
6 ユーザー名	Mvdjfe
7 スキャン	
8 <保存>	<input type="button" value="保存"/>

- 1 P2P ..... P2P通信の有効/無効を切り替えます。
- 2 サインアップなしで追加 ..... サインアップなしでP2P通信を行います。
- 3 アドレス ..... P2P通信で使用する本製品のアドレスを表示します。
- 4 登録コード ..... P2P通信で使用する登録コードを表示します。
- 5 デバイス状態 ..... 本製品の接続状態を表示します。
- 6 ユーザー名 ..... 本製品のユーザー名を表示します。
- 7 スキャン ..... スマートフォンなどからスキャンするQRコードを表示します。
- 8 <保存> ..... 「P2P」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

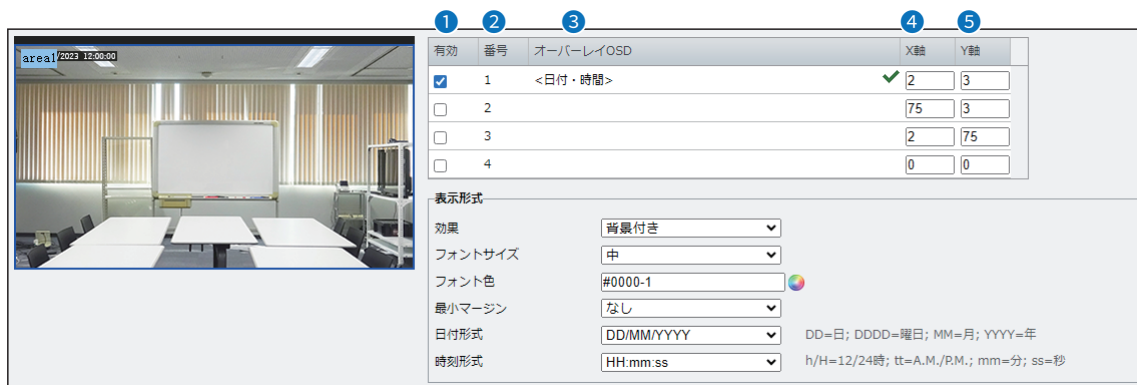
### 「OSD」画面

共通 > OSD > ライブビュー

#### ■ 「ライブビュー」タブ

映像に表示されるテキストの位置と種類を選択します。

※「画像」メニューの「OSD」画面にある「ライブビュー」タブと同じ設定項目です。



- ① 有効 ..... チェックマークを入れると、設定している OSD を映像に表示させます。  
左の映像から、設定している OSD の位置を変更できます。
- ② 番号 ..... 設定している OSD の番号が表示されます。
- ③ オーバーレイ OSD ..... 映像に表示させるテキストを設定します。  
「カスタム」を選択すると、入力した文字が表示されます。
- ④ X 軸 ..... 映像に表示させるテキストの X 軸の位置を設定します。
- ⑤ Y 軸 ..... 映像に表示させるテキストの Y 軸の位置を設定します。

## 2 設定画面について

### 「OSD」画面

共通 > OSD > ライブビュー

#### ■ 表示形式

※「画像」メニューの「OSD」画面にある「ライブビュー」タブと同じ設定項目です。

表示形式	
① 効果	背景付き
② フォントサイズ	中
③ フォント色	#0000-1
④ 最小マージン	なし
⑤ 日付形式	DD/MM/YYYY
⑥ 時刻形式	HH:mm:ss

DD=日; DDDD=曜日; MM=月; YYYY=年  
h/H=12/24時; tt=A.M./P.M.; mm=分; ss=秒

① 効果 ..... 表示させる OSD の背景について設定します。

◎ 背景付き

OSD に背景をつけて表示します。

◎ ノーマル

OSD に背景をつけずに表示します。

② フォントサイズ ..... 映像に表示させる項目の文字サイズを設定します。

③ フォント色 ..... 映像に表示させる項目の文字色を設定します。

④ 最小マージン ..... 画面の余白を設定します。

◎ なし

画面と OSD の余白をあげません。

◎ 半角

画面と OSD の余白を半角あげます。

◎ 全角

画面と OSD の余白を全角あげます。

⑤ 日付形式 ..... 映像に表示する日付の形式を設定します。

⑥ 時刻形式 ..... 映像に表示する時刻の形式を設定します。

## 2 設定画面について

### 「ユーザー」画面

共通 > ユーザー > ユーザー

#### ■ 「ユーザー」タブ

ユーザーの追加や削除、パスワードの変更をします。

※「セキュリティ」メニューの「ユーザー」画面にある「ユーザー」タブと同じ設定項目です。



番号	ユーザー名	ユーザータイプ
1	admin	管理者

- ① 〈追加〉 ..... 本製品にログインできるユーザーを追加します。  
※追加したユーザーでログインする場合、一部表示されない画面や設定項目があります。
- ② 〈編集〉 ..... 選択したユーザーのパスワードを変更します。(P.2-24)
- ③ 〈削除〉 ..... 登録した内容を取り消すときは、該当する欄を選択して、〈削除〉をクリックします。  
※「ユーザータイプ」欄が「管理者」のユーザーを取り消すことはできません。

#### 不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字、アルファベット(大文字/小文字)、特殊文字を組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

#### ご注意

管理者パスワードを忘れた場合、設定画面にアクセスするには、工場出荷時(初期値)の状態に戻す必要があります。

※初期化するときは、3-4ページにしたがって、本製品の〈RESET〉ボタンを操作してください。

## 2 設定画面について

### 「ユーザー」画面

共通 > ユーザー > ユーザー

#### ■ 編集

ユーザーのパスワードを変更します。

「ユーザー」タブにある「編集」(P.2-23)をクリックしたときに表示される画面です。

- ① ユーザー名 ..... パスワードを変更するユーザー名が表示されます。
- ② ユーザータイプ ..... 編集しているユーザーのタイプが表示されます。  
※ユーザータイプが「一般ユーザー」でログインした場合は、一部の機能や設定項目が表示されません。
- ③ 古いパスワード ..... 現在のパスワードを入力します。
- ④ パスワード ..... 新しいパスワードを、半角9文字以上、32文字以内の任意の英数字/特殊文字(! ? " # \$ % など)で入力します。  
※数字、アルファベット、特殊文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。
- ⑤ 確認 ..... [パスワード](④)欄で入力したパスワードを入力します。
- ⑥ メール ..... ユーザーのメールアドレスが表示されます。
- ⑦ <確認> ..... [編集]項目内で設定した内容を登録します。
- ⑧ <キャンセル> ..... [編集]項目の設定内容を登録せずに、[編集]項目を閉じるボタンです。

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > 有線ネットワーク

#### ■ 「有線ネットワーク」タブ

本製品のIPアドレスなどの通信設定を変更します。

※「共通」メニューの「有線ネットワーク」画面にある「有線ネットワーク」タブと同じ設定項目です。

設定の説明については、2-16ページをご覧ください。

IPv4	
IPアドレスを取得	固定IP
IPアドレス	192.168.1.13
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

IPv6	
モード	手動
住所	
プレフィクス長	64
デフォルトゲートウェイ	

基本	
MTU	1500
ポートタイプ	FEポート
操作モード	オート

保存

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > Wi-Fi

#### ■ 「Wi-Fi」タブ

Wi-Fiモードや適応ストリーム機能の設定です。



- ① Wi-Fiモード ..... Wi-Fiモードを選択します。
- ② 適応ストリーム ..... 適応ストリーム機能をON/OFFします。  
「ON」に設定すると、回線速度に応じてビットレートを変更します。  
※ [Wi-Fiモード] (①) 欄で「Wi-Fi」を設定した場合のみ設定できます。
- ③ 〈保存〉 ..... 「Wi-Fi」タブで設定した内容を保存します。

#### ■ ネットワーク状態

本製品に接続しているネットワークの状態を表示します。

※ 「Wi-Fi」タブの「Wi-Fiモード」欄を「Wi-Fi」に設定したときだけ表示されます。

ネットワーク状態	
状態	切断
SSID	なし
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
信号強度	📶

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > Wi-Fi

#### ■ Wi-Fiネットワーク

付近にある無線アクセスポイントが表示されます。

表示されている無線アクセスポイントをクリックすると、[Wi-Fi]項目に[パスワード]欄以外の項目が自動で入力されます。

※[Wi-Fi]タブの[Wi-Fiモード]欄(P.2-26)を「Wi-Fi」に設定したときだけ表示されます。

1 検索	2 SSID	3 チャンネル	4 Macアドレス	5 認証	6 暗号化	7 信号強度	8 信号強度(dBm)
	WIRELESSLAN-0	9	[redacted]	OPEN	なし	[4 bars]	-84

- ① 〈検索〉 ..... クリックすると、付近にある無線アクセスポイントを検索します。
- ② SSID ..... 無線アクセスポイントに設定されたSSIDを表示します。
- ③ チャンネル ..... 接続されているチャンネルを表示します。
- ④ MACアドレス ..... 無線アクセスポイントに設定されているMACアドレスを表示します。
- ⑤ 認証 ..... 無線アクセスポイントに設定している認証方式を表示します。
- ⑥ 暗号化 ..... 無線アクセスポイントに設定している暗号方式を表示します。
- ⑦ 信号強度 ..... 無線アクセスポイントの信号強度を6段階で表示します。
- ⑧ 信号強度(dBm) ..... 無線アクセスポイントの信号強度を数値で表示します。



## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > Wi-Fi

#### ■ Wi-Fi

本製品に接続する無線アクセスポイントを設定します。

※説明のため、[認証] (2) 欄を「SHARED」、[IPアドレスを取得] (6) 欄を「固定IP」に設定した画面を使用しています。

※「Wi-Fi」タブの「Wi-Fiモード」欄(P.2-26)を「Wi-Fi」に設定した場合のみ表示されます。

The screenshot shows the Wi-Fi configuration interface. On the left, there is a vertical list of numbered callouts (1-10) in blue circles. On the right, the corresponding configuration fields are shown. Callout 1 points to the SSID text input field. Callout 2 points to the authentication method dropdown menu, which is set to 'SHARED'. Callout 3 points to the password text input field. Callout 4 points to the confirmation password text input field. Callout 5 points to the encryption method dropdown menu, which is set to 'なし'. Callout 6 points to the IP address acquisition method dropdown menu, which is set to '固定IP'. Callout 7 points to the MTU text input field, which contains the value '1500'. Callouts 8, 9, and 10 point to the IP address, subnet mask, and default gateway text input fields, respectively, all of which are currently empty.

- ① SSID ..... 無線アクセスポイントに設定されたSSIDを入力します。
- ② 認証 ..... 無線アクセスポイントに設定された認証方式を「OPEN」、「SHARED」、「WPA-PSK/WPA2-PSK」から選択します。
- ③ パスワード ..... 無線アクセスポイントに設定されたパスワード(無線LANの暗号キー)を入力します。  
※ [認証] (2) 欄で「OPEN」に設定した場合は、表示されません。
- ④ 確認 ..... [パスワード] (3) 欄で入力したパスワードを入力します。
- ⑤ 暗号化 ..... 無線アクセスポイントに設定された無線伝送データを暗号化する方式を「なし」、「WEP」、「AES★」、「TKIP★」、「AES/TKIP★」から選択します。  
★ [認証] (2) 欄で「OPEN」に設定した場合は、表示されません。
- ⑥ IPアドレスを取得 ..... 本製品のIPアドレスを取得する方法を設定します。
  - ◎固定IP  
DHCPサーバーから取得しないとき、[IPアドレス] (8) 欄で入力したIPアドレスを使用します。
  - ◎DHCP  
本製品のIPアドレスをDHCPサーバーから自動取得します。
- ⑦ MTU ..... ネットワークを通じて送信するフレームサイズの上限を設定します。

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > Wi-Fi

#### ■ Wi-Fi(つづき)

※説明のため、[認証] (2) 欄を「SHARED」、[IPアドレスを取得] (6) 欄を「固定IP」に設定した画面を使用しています。

※「Wi-Fi」タブの[W-Fiモード]欄(P.2-26)を「Wi-Fi」に設定した場合のみ表示されます。

The screenshot shows the Wi-Fi configuration interface. On the left, there is a vertical list of numbered callouts (1-10) in blue circles. On the right, the corresponding settings are displayed in a form:

- 1 SSID: [Empty text box]
- 2 認証: [SHARED dropdown menu]
- 3 パスワード: [Empty text box]
- 4 確認: [Empty text box]
- 5 暗号化: [なし dropdown menu]
- 6 IPアドレスを取得: [固定IP dropdown menu]
- 7 MTU: [1500 text box]
- 8 IPアドレス: [Empty text box with red border]
- 9 サブネットマスク: [Empty text box with red border]
- 10 デフォルトゲートウェイ: [Empty text box with red border]

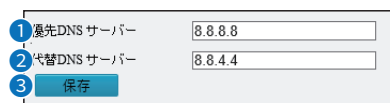
- 8 IPアドレス ..... 本製品のIPアドレスを入力します。  
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。  
※「ネットワーク」タブにある [IPアドレス] 欄(P.2-16) で設定したIPアドレスと同じIPアドレスを設定した場合は、設定内容が保存されません。
- 9 サブネットマスク ..... 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。  
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
- 10 デフォルトゲートウェイ ..... 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。  
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > DNS

#### ■ 「DNS」タブ



The screenshot shows a configuration window with three items: 1. '優先DNSサーバー' (Priority DNS Server) with the value '8.8.8.8'. 2. '代替DNSサーバー' (Alternative DNS Server) with the value '8.8.4.4'. 3. A blue '保存' (Save) button.

- ① 優先DNSサーバー ..... 本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
- ② 代替DNSサーバー ..... [優先DNSサーバー] (①) 欄で設定したDNSサーバーにアクセスできない場合、次にアクセスするDNSサーバーを入力します。
- ③ <保存> ..... 「DNS」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > DDNS

#### ■ 「DDNS」タブ

The screenshot shows the DDNS configuration interface. On the left, a vertical list of numbered callouts (1-8) points to specific elements in the form. The form itself contains the following fields and controls:

- 1 DDNS サービス: Radio buttons for ON and OFF, with OFF selected.
- 2 DDNS タイプ: A dropdown menu showing 'DynDNS'.
- 3 サーバーアドレス: A text input field containing 'www.dyndns.com'.
- 4 ドメイン名: An empty text input field.
- 5 ユーザー名: An empty text input field.
- 6 パスワード: An empty text input field.
- 7 確認: An empty text input field.
- 8 保存: A blue button labeled '保存'.

- |            |                                |
|------------|--------------------------------|
| ① DDNSサービス | DDNSサービスの有効/無効を切り替えます。         |
| ② DDNSタイプ  | DDNSタイプを選択します。                 |
| ③ サーバーアドレス | 本製品がアクセスするDDNSサーバーのアドレスを表示します。 |
| ④ ドメイン名    | DDNSサーバーのドメイン名を入力します。          |
| ⑤ ユーザー名    | DDNSサーバーのユーザー名を入力します。          |
| ⑥ パスワード    | DDNSサーバーへ認証するときのパスワードを設定します。   |
| ⑦ 確認       | [パスワード](⑥)欄で入力したパスワードを入力します。   |
| ⑧ 〈保存〉     | 「DDNS」タブで設定した内容を保存します。         |

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > ポート

#### ■ 「ポート」タブ

※ [HTTPポート] (①) 欄～[RTSPポート] (③) 欄で設定するポート番号がそれぞれ重複しないように設定してください。

①	HTTPポート	80
②	HTTPSポート	443
③	RTSPポート	554

※: RTSPポート番号を変更すると、再起動します

④ 保存

- ① HTTPポート ..... 本製品へのHTTPプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。  
設定できる範囲は、「1～65535」です。  
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
- ② HTTPSポート ..... 本製品へのHTTPSプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。  
設定できる範囲は、「1～65535」です。  
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
- ③ RTSPポート ..... 本製品へのRTSPプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。  
設定できる範囲は、「1～65535」です。  
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
- ④ <保存> ..... 「ポート」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > ポートマッピング

#### ■ 「ポートマッピング」タブ

上位ルーターのポートマッピングに関する設定をします。

※ [ポートマッピング] (1) 欄で「ON」、[マッピングタイプ] (2) 欄で「UPnP」に設定した画面を使用しています。

ポートタイプ	外部ポート	グローバルIP	状態
HTTPポート	80	0.0.0.0	無効
RTSPポート	554	0.0.0.0	無効
HTTPSポート	443	0.0.0.0	無効

- 1 **ポートマッピング** ..... ポートマッピング機能を ON/OFF します。
- 2 **マッピングタイプ** ..... ルーターのポート開放に UPnP を使用するか設定します。  
ルーターに UPnP 機能がないときは、「手動」を設定します。
- 3 **UPnPマッピング** ..... ポートタイプごとに [外部ポート] (5) 欄で設定したポート番号と対応するグローバルIPアドレスを自動設定するかを選択します。
- ◎ **オート**  
[外部ポート] (5) 欄のポート番号が占有されているとき、自動で占有されていないポート番号に変更されます。
- ◎ **手動**  
[外部ポート] (5) 欄のポート番号が占有されているとき、[状態] (7) 欄に「無効」が表示され、設定できません。
- 4 **ポートタイプ** ..... ポートマッピングをする名前が表示されます。
- 5 **外部ポート** ..... 使用するポート番号を設定します。  
※ [UPnPマッピング] (3) 欄を「手動」に設定している場合のみ設定できます。  
※ 設定するポート番号が重複しないように設定してください。
- 6 **グローバルIP** ..... ポートごとに割り当てられたグローバルIPアドレスが表示されます。
- 7 **状態** ..... [外部ポート] (5) 欄で設定したポート番号が使用できるか表示されます。  
設定したポートが占有されている場合、「無効」が表示されます。
- 8 **〈保存〉** ..... 「ポートマッピング」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「基本設定」画面

ネットワーク > 基本設定 > ポートマッピング

#### ■ 「ポートマッピング」タブ(つづき)

ルーターがUPnPに対応していない場合、設定したポート番号に本製品側でポート変換します。

※ [ポートマッピング] (①) 欄で「ON」、[マッピングタイプ] (②) 欄で「手動」に設定した画面を使用しています。

※ [HTTPポート] (⑨) 欄～[HTTPSポート] (⑪) 欄で設定するポート番号がそれぞれ重複しないように設定してください。

① ポートマッピング	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
② マッピングタイプ	手動 ▼
⑨ HTTPポート	80
⑩ RTSPポート	554
⑪ HTTPSポート	443

⑨ HTTPポート ..... HTTPのポート番号を設定します。

⑩ RTSPポート ..... RTSPのポート番号を設定します。

⑪ HTTPSポート ..... HTTPSのポート番号を設定します。

## 2 設定画面について

### 「サービス設定」画面

ネットワーク > サービス設定 > Eメール

#### ■ 送信者

電子メールの送信側を設定します。

アラームが作動した場合、設定した電子メールアドレスを使用して送信します。

- |                  |   |
|------------------|---|
| ① 送信者名           | 送信者の名前を設定します。   |
| ② アドレス           | 送信者の電子メールアドレスを設定します。  |
| ③ SMTPサーバー       | メール送信用のサーバーアドレスを設定します。  |
| ④ SMTPポート        | メール送信用サーバーのポート番号を設定します。   |
| ⑤ TLS/SSL        | TLS/SSL機能をON/OFFします。<br>「ON」に設定すると、電子メールをTLS、またはSSLを使用して暗号化します。                   |
| ⑥ スナップショットの間隔(秒) | 撮影する間隔を設定します。<br>「添付画像」にチェックマークを入れることで、スナップショットの間隔ごとに撮影した3枚のスナップショットを電子メールに添付します。 |
| ⑦ サーバー認証         | サーバー認証機能をON/OFFします。   |
| ⑧ ユーザー名          | SMTPサーバーへ認証するときのユーザー名を設定します。  |
| ⑨ パスワード          | SMTPサーバーへ認証するときのパスワードを設定します。  |
| ⑩ 確認             | 【パスワード】(⑨)欄で入力したパスワードを入力します。  |



## 2 設定画面について

### 「サービス設定」画面

ネットワーク > サービス設定 > Eメール

#### ■ 受信者

電子メールの受信側を設定します。

アラームが作動すると、設定した電子メールアドレスに送信します。

受信者		
①	送信者名1	<input type="text"/>
②	アドレス1	<input type="text"/> テスト
①	送信者名2	<input type="text"/>
②	アドレス2	<input type="text"/> テスト
①	送信者名3	<input type="text"/>
②	アドレス3	<input type="text"/> テスト
③	保存	

- ① 送信者1/2/3 ..... 送信する相手先の名前を設定します。
- ② アドレス1/2/3 ..... 送信する相手先の電子メールアドレスを設定します。  
<テスト>をクリックすると、[アドレス1/2/3] (①)欄で入力したメールアドレスすべてにメールを送信できるのかテストします。
- ③ <保存> ..... 「Eメール」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「サービス設定」画面

ネットワーク > サービス設定 > SNMP

#### ■ 「SNMP」タブ

The screenshot shows the SNMP configuration form with the following fields and callouts:

- 1: SNMPタイプ (SNMPv3)
- 2: ユーザー名 (admin)
- 3: 認証モード (MD5)
- 4: パスワード (masked)
- 5: 確認 (masked)
- 6: 暗号化モード (DES)
- 7: パスワード (masked)
- 8: 確認 (masked)
- 9: 保存 (Save button)

- |                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| 1 SNMPタイプ ..... | SNMPタイプを選択します。               |
| 2 ユーザー名 .....   | SNMPによる制御をする際のユーザー名を表示します。   |
| 3 認証モード .....   | SNMPの認証モードを表示します。            |
| 4 パスワード .....   | SNMPのパスワードを入力します。            |
| 5 確認 .....      | [パスワード](4)欄で入力したパスワードを入力します。 |
| 6 暗号化モード .....  | 暗号化モードを表示します。                |
| 7 パスワード .....   | 暗号化モードに対するパスワードを入力します。       |
| 8 確認 .....      | [パスワード](7)欄で入力したパスワードを入力します。 |
| 9 〈保存〉 .....    | 「SNMP」タブで設定した内容を保存します。       |

## 2 設定画面について

### 「サービス設定」画面

ネットワーク > サービス設定 > QoS

#### ■ 「QoS」タブ

データ送信の優先順位を設定し、データの通信速度などを一定に保ちます。  
設定したDSCP値(10進数)が大きいほど、データ送信の優先順位を高くします。

① 音声と映像	46
② アラームレポート	0
③ 設定管理	0
④ FTP	4
⑤ 保存	

- ① 音声と映像 ..... 映像のデータ送信の優先順位を設定します。
- ② アラームとレポート ..... アラームとレポートの優先順位を設定します。
- ③ 設定管理 ..... 設定管理の優先順位を設定します。
- ④ FTP ..... FTPのデータ送信の優先順位を設定します。
- ⑤ <保存> ..... 「QoS」画面で設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「プラットフォームアクセス」画面

ネットワーク > プラットフォームアクセス > P2P

#### ■ 「P2P」タブ

P2P通信の情報を表示します。

The screenshot shows the P2P settings interface. It includes a list of settings on the left and their corresponding values on the right. A QR code is displayed for scanning. A '保存' (Save) button is at the bottom.

1 P2P	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
2 サインアップなしで追加	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
3 アドレス	<a href="http://ap1.star4live.com">ap1.star4live.com</a>
4 登録コード	3165ABDLO37G8RLPSM606QEXG
5 デバイス状態	オンライン <input type="button" value="ログアウト"/>
6 ユーザー名	Mvdjfe
7 スキャン	
8 <保存>	<input type="button" value="保存"/>

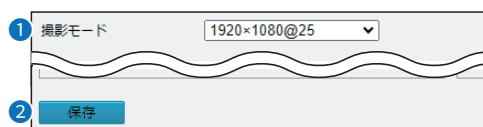
- 1 P2P ..... P2P通信の有効/無効を切り替えます。
- 2 サインアップなしで追加 ..... サインアップなしでP2P通信を行います。
- 3 アドレス ..... P2P通信で使用する本製品のアドレスを表示します。
- 4 登録コード ..... P2P通信で使用する登録コードを表示します。
- 5 デバイス状態 ..... 本製品の接続状態を表示します。
- 6 ユーザー名 ..... 本製品のユーザー名を表示します。
- 7 スキャン ..... スマートフォンなどからスキャンするQRコードを表示します。
- 8 <保存> ..... 「P2P」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「ビデオ」画面

ビデオと音声 > ビデオ > ビデオ

#### ■ 「ビデオ」タブ



- ① 撮影モード……………メインストリームの[解像度]欄(P.2-41)を変更します。  
※設定を変更すると、[フレームレート(fps)]欄(P.2-41)、[ビットレート(Kbps)]欄(P.2-41)、[フレーム間隔]欄(P.2-42)が出荷時の状態に戻ります。
- ② 〈保存〉……………「ビデオ」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「ビデオ」画面

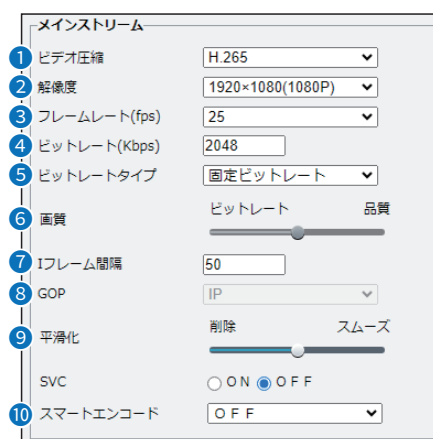
ビデオと音声 > ビデオ > ビデオ

#### ■ メインストリーム/サブストリーム

ストリームに対する設定をします。

サブストリームを使用する場合は、「有効」にチェックマークを入れます。

※本書では「メインストリーム」の設定項目で説明しています。



- ① **ビデオ圧縮** ..... 映像の圧縮方法を「H.265」、「H.264」、「MJPEG」から選択します。
- ② **解像度** ..... 映像の解像度を設定します。  
※「ビデオ」タブの[撮影モード]欄(P.2-40)の設定を変更すると、[メインストリーム]項目にある解像度の値が変更されます。
- ③ **フレームレート(fps)** ..... 画像をエンコードするためのフレームレートを設定します。
- ④ **ビットレート(Kbps)** ..... 映像のビットレートを設定します。  
※ [ビデオ圧縮] (①) 欄を「MJPEG」に設定している場合は、設定できません。  
※ [解像度] (②) 欄の設定を変更すると、値が変更されます。
- ⑤ **ビットレートタイプ** ..... ビットレートで使用する種類を選択します。  
※ [ビデオ圧縮] (①) 欄を「MJPEG」に設定している場合は、設定できません。
- **固定ビットレート**  
一定のデータレートでデータを送信します。
- **可変ビットレート**  
画質に応じたビットレートでデータを送信します。
- ⑥ **画質** ..... 映像の画質を設定します。  
スライダーを[ビットレート]の方向に動かすと、ビットレートが低下し、画質に影響する場合があります。スライダーを[品質]の方向に動かすと、ビットレートが上がり、画質が向上します。  
※ [ビットレートタイプ] (⑤) 欄を「可変ビットレート」に設定している場合のみ設定できます。

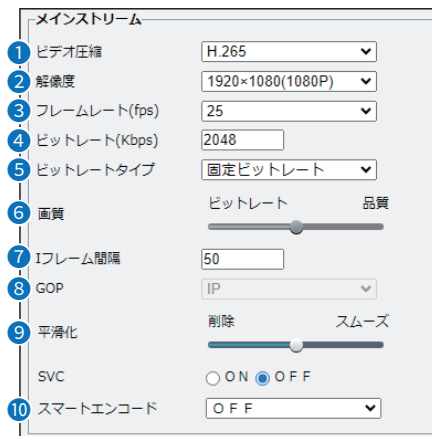
## 2 設定画面について

### 「ビデオ」画面

ビデオと音声 > ビデオ > ビデオ

#### ■ メインストリーム/サブストリーム(つづき)

※本書では「メインストリーム」項目の設定画面で説明しています。



#### 7 Iフレーム間隔

Iフレームがエンコードされる間隔を設定します。

Iフレーム間隔を短くすると、画質は向上しますが、帯域幅を多く消費します。

※ [ビデオ圧縮] (1) 欄を「MJPEG」、[スマートエンコード] (10) 欄を「基本モード」、または「アドバンスモード」に設定している場合は、設定できません。

#### 8 GOP

MPEGビデオエンコーディングの画像グループが表示されます。

イントラフレーム(Iフレーム)とインターフレームが配置される順序を指定します。

※ [スマートエンコード] (10) 欄を「OFF」に設定している場合のみ表示されません。

#### 9 平滑化

映像を平滑化する範囲を設定します。

スライダーを「削除」の方向へ移動すると、平滑化が無効になります。

スライダーを「スムーズ」の方向に動かすと、平滑化のレベルが上がりますが、画質に影響します。

※ [ビデオ圧縮] (1) 欄を「MJPEG」、[スマートエンコード] (10) 欄を「基本モード」、または「アドバンスモード」に設定している場合は、設定できません。

#### 10 スマートエンコード

画質を保持した状態で、ビットレートを圧縮する機能を設定します。

[ビデオ圧縮] (1) 欄を「H.265」に設定しているときに使用すると、Ultra 265の圧縮方式になります。

※ [ビデオ圧縮] (1) 欄を「MJPEG」に設定している場合は、設定できません。

#### ◎ OFF

スマートエンコードを使用しません。

#### ◎ 基本モード

実際のビットレートを、設定されたビットレートの約3/4にします。

#### ◎ アドバンスモード

実際のビットレートを、設定されたビットレートの約1/2にします。

## 2 設定画面について

### 「スナップショット」画面

ビデオと音声 > スナップショット > スナップショット

#### ■ 「スナップショット」タブ

スナップショット機能の設定です。

① スナップショット  ON  OFF

② 解像度 1920×1080

③ 最大サイズ (KB) 300

④ 保存

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| ① スナップショット   | スナップショット機能を設定します。          |
| ② 解像度        | 撮影した画像の解像度が表示されます。         |
| ③ 最大サイズ (KB) | 画像ファイルの最大容量を設定します。         |
| ④ 〈保存〉       | 「スナップショット」タブで設定した内容を保存します。 |



## 2 設定画面について

### 「スナップショット」画面

ビデオと音声 > スナップショット > スナップショット

#### ■ スナップショットスケジュール

スケジュール設定時

スナップショットスケジュール

① スナップショットの間隔(…) 1

② スナップショット枚数 1

③ スナップショットモード  スケジュール  リピート

④

No.	スナップショット時間	+

※上図は、[スナップショットモード] (③) 欄で「スケジュール」を選択したときの画面です。

リピート設定時

③ スナップショットモード  スケジュール  リピート

⑤ 間隔(秒) 60

※上図は、[スナップショットモード] (③) 欄で「繰り返し」を選択したときの画面です。

- ① スナップショット間隔(秒) …………… スナップショットを連続で撮影する間隔を設定します。
- ② スナップショット枚数…………… スナップショットを撮影する枚数を設定します。
- ③ スナップショットモード…………… スナップショットを自動で撮影する方法を設定します。

#### ◎ スケジュール

スナップショットを撮影する時間を設定します。

#### ◎ リピート

スナップショットを繰り返し撮影します。

- ④ スケジュール…………… スナップショットを撮影する時間を設定します。  
[+] をクリックすると、登録できます。  
[-] をクリックすると、登録した内容を削除します。  
※ [スナップショットモード] (③) 欄を「スケジュール」に設定している場合のみ設定できます。
- ⑤ 間隔(秒) …………… [スナップショット枚数] (②) 欄で設定した枚数の撮影が終わった場合、次のスナップショットを撮影するまでの間隔を設定します。  
※ [スナップショットモード] (③) 欄を「リピート」に設定している場合のみ設定できます。

## 2 設定画面について

### 「音声」画面

ビデオと音声 > 音声 > 音声

#### ■ 「音声」タブ



- |                  |                                  |
|------------------|----------------------------------|
| ① 音声入力           | 音声入力の有効/無効を切り替えます。               |
| ② 接続モード          | 音声入力の接続方法を選択します。                 |
| ③ 入力ボリューム        | 音声入力の音量(0～100)を設定します。            |
| ④ 音声圧縮           | 音声圧縮の符号化形式(G.711A/G.711U)を設定します。 |
| ⑤ サンプリングレート(KHz) | 本製品の設定しているサンプリングレートを表示します。       |
| ⑥ ノイズサプレッス       | 雑音を抑制します。                        |
| ⑦ チャンネル1         | チャンネル(Mic)の有効/無効を切り替えます。         |
| ⑧ <保存>           | 「音声」タブで設定した内容を保存します。             |

## 2 設定画面について

### 「ROI」画面

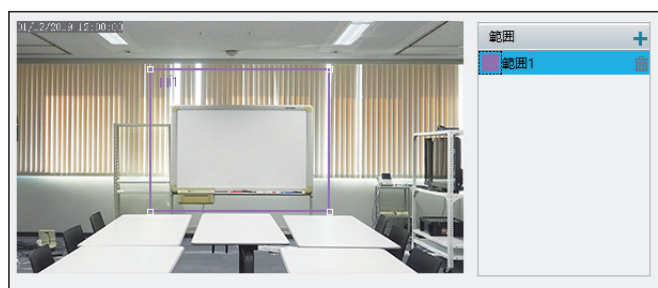
ビデオと音声 > ビデオ > ROI

#### ■ 「ROI」タブ

ROI(関心領域)の画質範囲を設定します。

設定した範囲内を高画質、範囲外を低画質にしてデータ量を抑えて効率のよい映像を映します。

※最大2つまで追加できます。



[範囲] 欄にある「+」をクリックすると、左の映像にROIの画質範囲を追加します。

範囲の大きさや位置を変更することで、ROIの画質範囲と位置を変更します。

「-」をクリックすると、登録されているROIの画質範囲を削除します。

## 2 設定画面について

### 「メディアストリーム」画面

ビデオと音声 > メディアストリーム > メディアストリーム

#### ■ 「メディアストリーム」タブ

どの装置に向けてデータを出しているのかを確認できます。

1	2	3	4	5	6	7
ストリームプロファイル	プロトコル	宛先IP	宛先ポート	永続的	状態	+
メインストリーム	TCP	192.168.0.1	52726	無効	ストリーミング	⊖ 8

- 1 **ストリームプロファイル** …………… 使用しているストリームが表示されます。
- 2 **プロトコル** …………… 使用している通信プロトコルが表示されます。
- 3 **宛先IP** …………… 使用しているIPアドレスが表示されます。
- 4 **宛先ポート** …………… 使用しているポート番号が表示されます。
- 5 **永続的** …………… 本製品の再起動後に自動的に構成したメディアストリームをデバイスで確立するかが表示されます。
- 6 **状態** …………… 現在データを流しているデバイスの映像状態が表示されます。
- 7 **追加** …………… 「メディアストリーム」タブに設定内容を登録します。(P.2-48)
- 8 **削除** …………… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の「⊖」をクリックします。

## 2 設定画面について

### 「メディアストリーム」画面

ビデオと音声 > メディアストリーム > メディアストリーム

#### ■ メディアストリーム追加

カメラを管理していないNVRにデータを送る場合に設定します。

「メディアストリーム」タブの「**+**」をクリックしたときに表示される画面です。

- |               |  |
|---------------|--|
| ① ストリームプロファイル | 送信するストリームを選択します。   |
| ② 宛先IP        | 送信するIPアドレスを設定します。  |
| ③ 宛先ポート       | 送信するポート番号を設定します。<br>※ [プロトコル] (④) で「RTMP」に設定した場合は、表示されません。 |
| ④ プロトコル       | 使用する通信プロトコルを、「TS/UDP」、「ES/UDP」、「RTMP」から設定します。              |
| ⑤ 永続的         | 本製品の再起動後に自動的に構成したメディアストリームをデバイスで確立するかを設定します。               |
| ⑥ 〈確認〉        | [メディアストリーム追加] 項目で設定した内容を登録します。                             |
| ⑦ 〈キャンセル〉     | [メディアストリーム追加] 項目の設定内容を登録せずに、[メディアストリーム追加] 項目を閉じます。         |

## 2 設定画面について

### 「メディアストリーム」画面

ビデオと音声 > メディアストリーム > RTSPマルチキャストアドレス

#### ■ 「RTSPマルチキャストアドレス」タブ

メインストリーム

① マルチキャストアドレス 0.0.0.0

② ポート 0

サブストリーム

マルチキャストアドレス 0.0.0.0

ポート 0

③ 保存

- ① マルチキャストアドレス …………… RTSPを送信するマルチキャストアドレスを設定します。
- ② ポート…………… RTSPを送信するポート番号を設定します。
- ③ 〈保存〉…………… 「RTSPマルチキャストアドレス」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ シーン



- ① **現行** ..... 使用する、または設定するシーンを設定します。
- ② **シーン名** ..... 本製品の設置場所に合わせて設定します。
- ◎ **共通**  
屋外で使用するときを設定します。
  - ◎ **屋内**  
屋内で使用するときを設定します。
  - ◎ **ハイライト補正(道路用)**  
数字や文字が含まれる映像を保存したいときに使用します。
  - ◎ **カスタム**  
必要に応じてシーン名を設定します。
- ③ **自動切替** ..... チェックマークを入れると、シーンを自動で切り替える場合の候補に入れます。  
※ [デフォルト設定] (⑤) 欄で設定したシーンは、自動で候補に入っています。
- ④ **スケジュール** ..... シーンの自動切替をする場合にどの期間で切り替えるのかを設定します。  
また、照明の数値を設定することで、設定した期間中に照明の数値が満たされた場合のみ、切り替えます。  
※ 照明の開始値と終了値が両方とも「0」に設定されている場合は、照明の設定は無効になります。
- ⑤ **デフォルト設定** ..... 通常使用するシーンを選択します。
- ⑥ **自動切替有効** ..... チェックマークを入れると、[自動切替] (④) 欄でチェックマークを入れているシーンに自動で切り替えます。  
[スケジュール] (④) 欄で設定したスケジュールごとにシーンを切り替えます。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ 画像補正



- ① **輝度** ..... 画像の明るさを設定します。
- ② **彩度** ..... 色に含まれる色相の量を設定します。
- ③ **コントラスト** ..... 最も白い部分と最も黒い部分の差異を設定します。  
数値が大きいほど、差異を大きくします。
- ④ **シャープネス** ..... 輪郭の強弱を調整します。
- ⑤ **2Dノイズ削減** ..... 画像のノイズを減らします。  
この設定によって、画像がぼやける場合があります。
- ⑥ **3Dノイズ削減** ..... 画像のノイズを減らします。  
この設定によって、モーションブラー(または一部のアプリではゴースト)を引き起こす可能性があります。
- ⑦ **画像回転** ..... 画像の回転設定をします。
  - **ノーマル**  
通常の画像にします。
  - **垂直反転**  
画像を垂直に反転した状態にします。
  - **水平反転**  
画像を水平に反転した状態にします。
  - **180°**  
画像を180°に回転した状態にします。

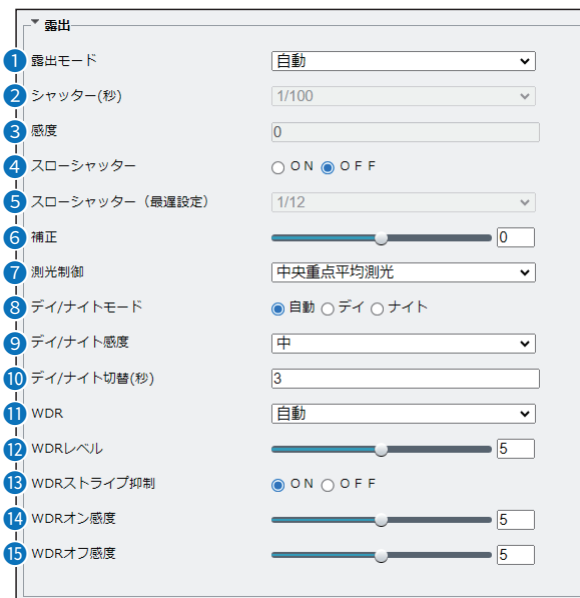


## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ 露出



① 露出モード ..... 露出効果の設定をします。

◎自動

環境に応じて露出を自動的に調整します。

◎カスタム

必要に応じて露出を設定します。

◎屋内50Hz/屋内60Hz

屋内に設置している場合、蛍光灯の周波数に合わせて設定します。  
通常、東日本は屋内50Hz、西日本は屋内60Hzに設定します。

◎手動

[シャッター(秒)](①)欄、[感度](②)欄、[スローシャッター](③)欄を手動で設定して、画質を微調整します。

◎低モーションブラー

動体を録画した場合のブレを減らすために、シャッター速度を制御します。

② シャッター(秒) .....

レンズに入る光を制御するために使用されます。シャッターを速く設定した場合は、動きの速いシーン、シャッターを遅く設定した場合は、ゆっくりと変化するシーンに設定します。

※ [露出モード](①)欄が「カスタム」、 「手動」、または「低モーションブラー」に設定されている場合のみ設定できます。

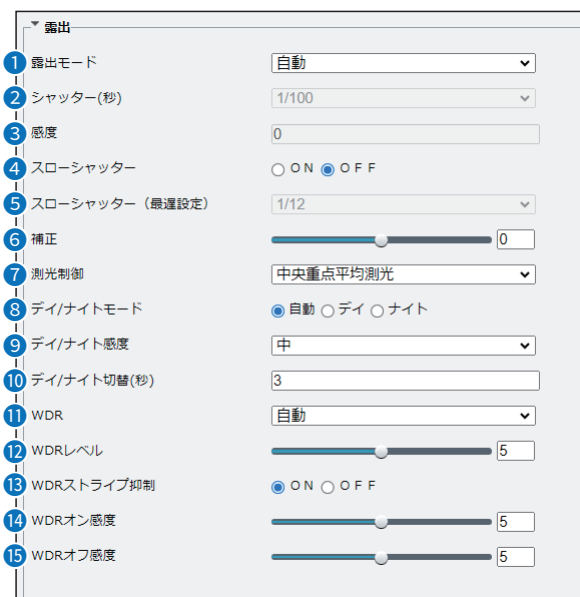
※ [スローシャッター](④)欄が「OFF」に設定されている場合、シャッタースピードの逆数はフレームレートよりも大きく設定してください。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ 露出(つづき)



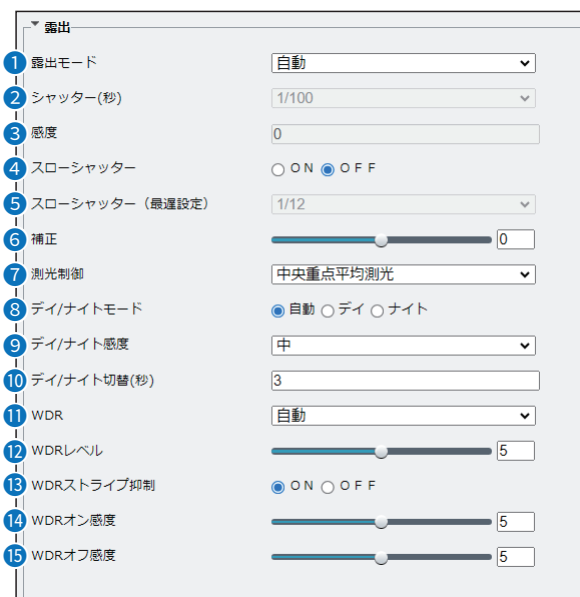
- ③ 感度 ..... 本製品が光の状態に応じて標準のビデオ信号を出力するように、画像信号を制御します。  
※「露出モード」(①)欄が「手動」、または「カスタム」に設定されている場合のみ設定できます。
- ④ スローシャッター ..... スローシャッター機能をON/OFFします。
- ⑤ スローシャッター(最遅設定) ... 本製品が露光中に使用できる最も遅いシャッター速度を設定します。  
※「スローシャッター」(④)欄が「ON」に設定されている場合のみ設定できません。
- ⑥ 補正 ..... 必要な補正值を調整して、目的の効果になるように設定します。  
※「露出モード」(①)欄が「手動」に設定されている場合は、設定できません。
- ⑦ 測光制御 ..... 光の強度を測定する方法を設定します。  
※「露出モード」(①)欄が「手動」に設定されている場合は、設定できません。
- ◎ 中央重点平均測光  
おもに画像の中央部分の光を測定します。
  - ◎ 評価測定(BLC)  
画像のカスタマイズされた領域の光を測定します。
  - ◎ スポット測光  
画像の露出オーバー領域の明るさを無視します。  
この設定にした場合、画像の全体的な明るさが低下します。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ 露出(つづき)



⑧ デイ/ナイトモード ..... デイ/ナイトモードの切り替えを設定します。

◎自動

光の状態に応じてデイモード、またはナイトモードに切り替えます。

◎デイ

カラー画像を表示します。

◎ナイト

白黒画像を表示します

⑨ デイ/ナイト感度 ..... デイモードとナイトモードを切り替えるための設定をします。  
感度を高く設定すると、光の変化に対してより敏感になり、デイモードとナイトモードが切り替わりやすくなります。  
※「デイ/ナイトモード」(⑧欄が「自動」に設定されている場合のみ設定できます。

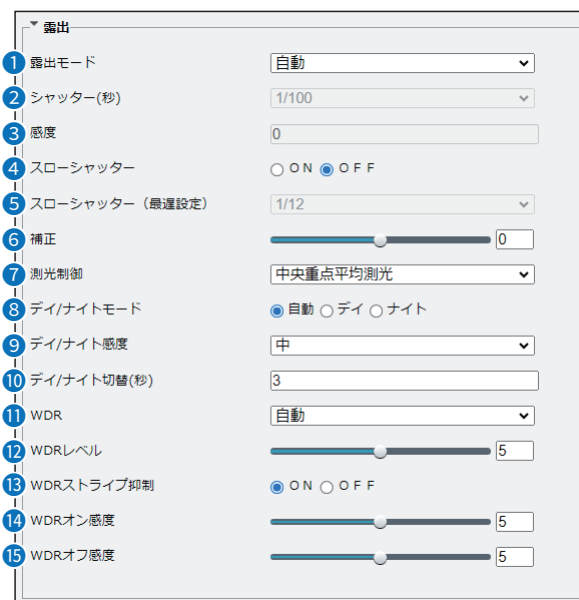
⑩ デイ/ナイト切替(秒) ..... 切り替え条件が満たされた場合、本製品がデイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。  
※「デイ/ナイトモード」(⑧欄が「自動」に設定されている場合のみ設定できます。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ 露出(つづき)



- ① WDR ..... 同じ画像の明るい部分と暗い部分を区別するかを設定します。  
※「露出モード」(①)欄が「手動」に設定されている場合は、設定できません。
- ⑫ WDRレベル ..... WDRレベルを調整して画像を改善できます。  
※ [WDR] (⑪)欄を「ON」に設定した場合のみ設定できます。  
※ シーンの明るい部分と暗い部分のコントラストが高い場合は、レベル7以上を使用してください。低いコントラストの場合は、WDRを無効にするか、レベル1～6を使用することをおすすめします。
- ⑬ WDRストライプ抑制 ..... 有効にすると、光の周波数に応じて低速シャッター周波数を自動的に調整し、画像に現れるしま模様を最小限に抑えます。
- ⑭ WDRオン感度 ..... WDRオン時の感度を設定します。  
※ [WDR] (⑪)欄を「自動」に設定した場合のみ設定できます。
- ⑮ WDRオフ感度 ..... WDRオフ時の感度を設定します。  
※ [WDR] (⑪)欄を「自動」に設定した場合のみ設定できます。

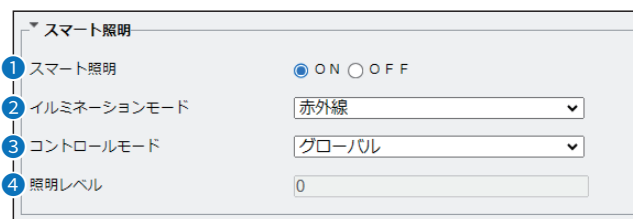
## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ スマート照明

赤外線 (IR) 照明を照射するときの強さと露出を調整して、映像の明るさを設定します。



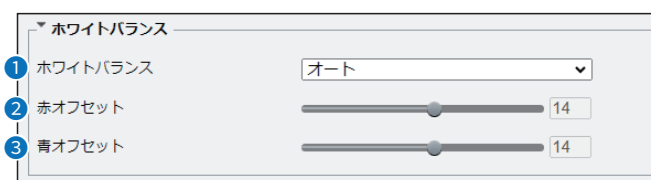
- ① **スマート照明** ..... スマート照明機能を ON/OFF します。
- ② **イルミネーションモード** ..... 使用している照明タイプ (赤外線) が表示されます。  
※ 設定を変更することはできません。
- ③ **コントロールモード** ..... 赤外線 (IR) 照明と露出を設定します。
  - ◎ **グローバル**  
赤外線 (IR) 照明と露出を調整して、バランスのとれた画像効果を実現します。設定すると、一部の領域が露出オーバーになる場合があります。監視範囲と画像の明るさを最優先する場合におすすめします。
  - ◎ **露出オーバー抑制**  
赤外線 (IR) と露出を調整して、局所的な露出オーバーを防ぎます。設定すると、一部の領域が暗くなる場合があります。画像の中央部分の明瞭さと露出オーバーコントロールを最優先する場合におすすめします。
  - ◎ **カスタムレベル**  
赤外線 (IR) 照明の強度を手動で設定します。
- ④ **照明レベル** ..... 照明のレベルを 0～1000 の範囲から設定します。  
※ [コントロールモード] (③) 欄を「カスタムレベル」に設定している場合のみ設定できます。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ ホワイトバランス



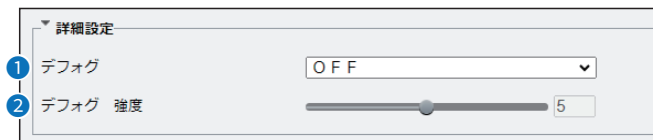
- ① **ホワイトバランス** …………… 画像の赤、または青のオフセットの調整方法を設定します。
- ◎ **オート/自動2**  
本製品は、光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します。  
(色は青になる傾向があります)  
※画像がまだ不自然に赤または青である場合は、自動2を試してください。
  - ◎ **屋外**  
色温度範囲が比較的広い屋外環境に適しています。
  - ◎ **微調整**  
赤と青のオフセットを手動で設定します。
  - ◎ **ナトリウムランプ**  
光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します。(色は赤になる傾向があります)
  - ◎ **保護**  
現在の色温度を変更せずに保護します。
- ② **赤オフセット** …………… 赤のオフセットを手動で調整します。  
※ [ホワイトバランス] (①) 欄を「微調整」に設定している場合のみ設定できます。
- ③ **青オフセット** …………… 青のオフセットを手動で調整します。  
※ [ホワイトバランス] (①) 欄を「微調整」に設定している場合のみ設定できます。

## 2 設定画面について

### 「画像」画面

画像 > 画像 > 画像

#### ■ 詳細設定



- ① デフォグ ..... 映像の鮮明度を調整するのかを設定します。  
※ [露出] 項目の [WDR] 欄 (P.2-55) を「OFF」に設定している場合のみ設定  
できます。
- ② デフォグ 強度 ..... 映像の鮮明度を設定します。  
デフォグ強度レベル6～9は光学的デフォグを表し、デフォグ強度がレベル  
5から6に設定されると、画像はカラーから白黒に変化します。  
レベル9は最大の霧除去効果を達成し、レベル1は最小の霧除去効果を達成  
します。  
※ [デフォグ] (①) 欄を「ON」または「自動」に設定している場合のみ設定でき  
ます。

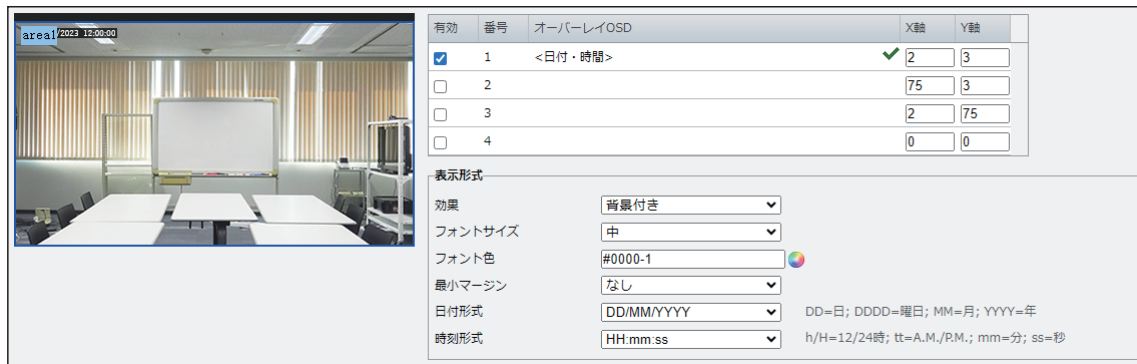
## 2 設定画面について

### 「OSD」画面

画像 > OSD > ライブビュー

#### ■ 「ライブビュー」タブ

※「共通」メニューの「OSD」画面と同じ設定内容です。  
設定の説明については、2-21ページをご覧ください。



有効	番号	オーバーレイOSD	X軸	Y軸
<input checked="" type="checkbox"/>	1	<日付・時間>	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="text" value="3"/>
<input type="checkbox"/>	2		<input type="text" value="75"/>	<input type="text" value="3"/>
<input type="checkbox"/>	3		<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="75"/>
<input type="checkbox"/>	4		<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

表示形式

効果

フォントサイズ

フォント色

最小マージン

日付形式  DD=日; DDDD=曜日; MM=月; YYYY=年

時刻形式  h/H=12/24時; tt=A.M./P.M.; mm=分; ss=秒



## 2 設定画面について

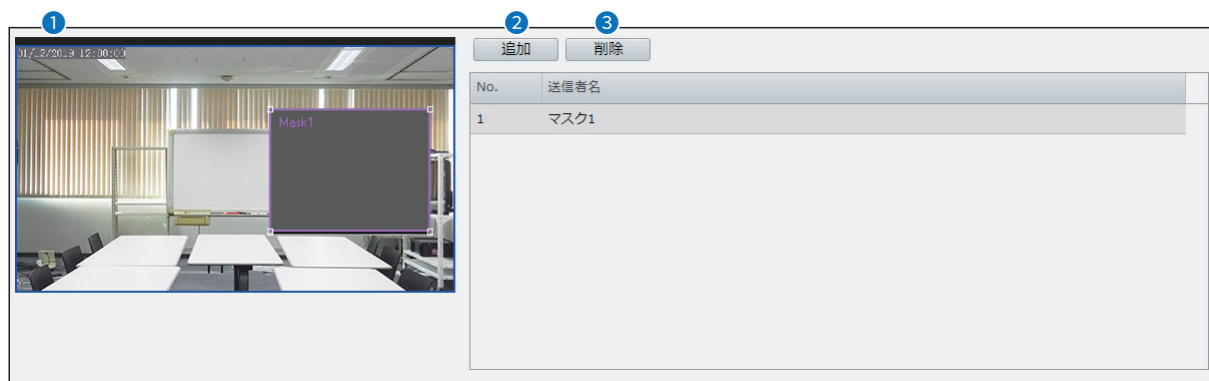
### 「プライバシーマスク」画面

画像 > プライバシーマスク > プライバシーマスク

#### ■ 「プライバシーマスク」タブ

プライバシー保護のため、映像にマスク領域を設定します。

※ マスク領域は、最大4つまで追加できます。



- ① 映像 ..... 表示されているマスク領域の大きさや位置を変更します。
- ② <追加> ..... マスク領域を追加します。  
<追加>をクリックすると、[映像] (①)欄にマスク領域が表示されます。
- ③ <削除> ..... 登録した内容を取り消すときは、該当するマスク領域を選択して、<削除>をクリックします。

## 2 設定画面について

### 「スマート」画面

インテリジェント > スマート > 人体検出

#### ■ 「人体検出」タブ

指定した範囲に人やものなどが侵入した場合にアラームを作動する設定をします。

※ 設定できる検出範囲は1つです。



- ① 人体検出を有効にします …… チェックマークを入れると、侵入検知機能が有効になります。
- ② スナップショットエリア …… 検知範囲を設定します。  
「+」をクリックすると、左の映像に検出範囲を追加します。  
表示されている範囲にある□をドラッグすると、検知範囲を変更できます。  
線をドラッグすると、範囲全体を移動できます。  
「■」をクリックすると、該当する欄の検出範囲を削除します。
- ③ 感度 …… 数値が大きいほど感度が高くなり、検出しやすくなります。
- ④ 〈保存〉 …… 「人体検出」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「スマート」画面

インテリジェント > スマート > 人体検出

#### ■ 連動動作

侵入検知機能でアラームが作動した場合に、動作する内容を設定します。

従来型	ストレージ
<input type="checkbox"/> FTPアップロード	<input checked="" type="checkbox"/> 記録エッジストレージ
<input type="checkbox"/> メール送信	<input type="checkbox"/> イメージエッジストレージ

連動動作…………… アラームが作動したときに、動作する内容を設定します。

##### ◎FTPアップロード

アラームが作動したときに、指定されたFTPサーバーにスナップショットを自動的にアップロードします。

※この機能を使用する前に、FTPとスナップショットの設定が完了していることを確認してください。

設定については、2-43ページと2-73ページをご覧ください。

##### ◎メール送信

アラームが作動したときに、指定されたメールアドレスにスナップショットを自動的に送信します。

※この機能を使用する前に、メールの設定を完了してください。

設定については、2-35ページをご覧ください。

##### ◎記録エッジストレージ

アラームが作動したときに、自動で録画、microSDカードに保存します。

##### ◎イメージエッジストレージ

アラームが作動したときに、自動でスナップショットを撮影し、microSDカードに保存します。

※この機能を使用する前に、スナップショットの設定を完了してください。

設定については、2-43ページをご覧ください。

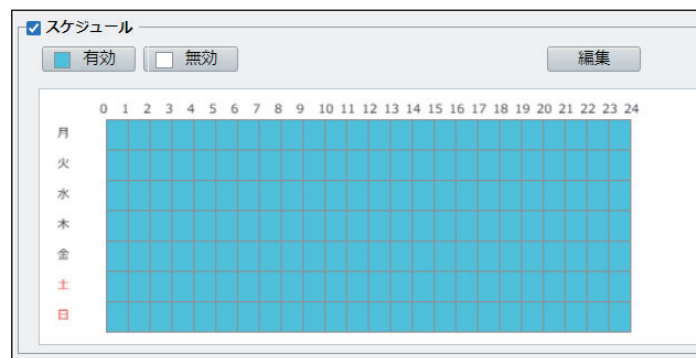
## 2 設定画面について

### 「スマート」画面

インテリジェント > スマート > 人体検出

#### ■ プラン

侵入検知機能を使用するスケジュールを設定します。



スケジュール.....

機能を使用する日時を設定します。

「スケジュール」にチェックマークを入れると、スケジュール機能が有効になります。

〈有効〉、または〈無効〉をクリックし、使用する日時を設定します。

〈編集〉をクリックすると、時間を細かく設定できます。(P.2-64)

## 2 設定画面について

### 「スマート」画面

インテリジェント > スマート > 人体検出

#### ■ 編集

[スケジュール]欄にある<編集>をクリックしたときに表示される画面です。

- ① 曜日 ..... 時間を設定する曜日を選択します。
- ② 開始時刻 ..... 機能を開始する時刻を設定します。
- ③ 終了時刻 ..... 機能を終了する時刻を設定します。
- ④ コピー先 ..... [開始時刻] (②) 欄と [終了時刻] (③) 欄の設定内容をコピーする曜日を選択します。
- ⑤ <コピー> ..... クリックすると、[コピー先] (④) 欄で選択した曜日に設定をコピーします。
- ⑥ <確認> ..... [編集] 項目内で設定した内容を登録します。
- ⑦ <キャンセル> ..... [編集] 項目の設定内容を登録せずに、[編集] 項目を閉じるボタンです。

## 2 設定画面について

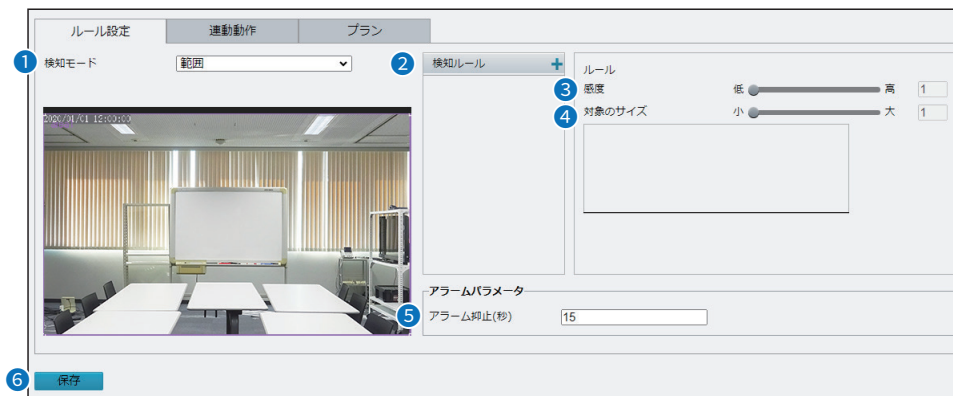
### 「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 動体検知

#### ■ 「動体検知」タブ

指定した範囲にいる人やものなどが動いた場合にアラームを作動する設定をします。

※ 検知範囲は、最大4つまで追加できます。



① 検知モード ..... 動体検知をする範囲の作成方法を設定します。

##### ◎ 範囲

範囲の大きさや場所を自由に変更します。

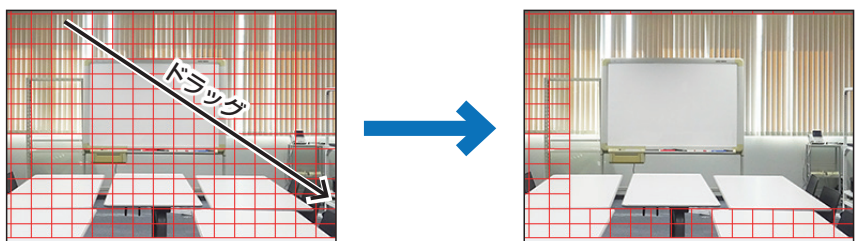
表示されている範囲の□をドラッグすると、大きさを変更できます。

線をドラッグすると、範囲全体を移動できます。

##### ◎ グリッド

表示されるマス目から、検知範囲を選択します。

線で囲まれている範囲から検知します。



② 検知ルール ..... 範囲の追加や削除をします。

「+」をクリックすると、左の映像に検知範囲を追加します。

「-」をクリックすると、該当する欄の検知範囲を削除します。

※ [検知モード] (①) 欄で「範囲」を設定した場合のみ設定できます。

③ 感度 ..... 動体検知の感度を設定します。

④ 対象のサイズ ..... 人やものなどがどのぐらい動いた場合にアラームを作動するか設定します。  
小さいほど少しの動きでアラームが作動します。

※ [検知モード] (①) 欄で「範囲」を設定した場合のみ設定できます。

⑤ アラーム抑止(秒) ..... アラームが作動している場合、同じアラームを作動させない時間を設定します。

⑥ <保存> ..... 「動体検知」タブ内で設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 動体検知

#### ■ 連動動作

動体検知機能でアラームが作動した場合、動作する内容を設定します。  
設定の説明については、2-62ページをご覧ください。

従来型	ストレージ
<input type="checkbox"/> FTPアップロード	<input checked="" type="checkbox"/> 記録エッジストレージ
<input type="checkbox"/> メール送信	<input type="checkbox"/> イメージエッジストレージ

#### ■ スケジュール

動体検知機能を使用する日時を設定します。  
設定の説明については、2-63ページをご覧ください。

スケジュール

有効  無効 編集

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																									
火																									
水																									
木																									
金																									
土																									
日																									

## 2 設定画面について

### 「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 改ざんアラーム

#### ■ 「改ざんアラーム」タブ

レンズが一定時間ブロックされた場合にアラームを作動する設定をします。

①  改ざんアラームを有効

ルール設定 | 連動動作 | プラン

② 感度 [Slider] 50

③ 持続期間(秒) [Input] 1

④ 保存

- ① 改ざんアラームを有効 …………… チェックマークを入れると、タンパリング機能が有効になります。
- ② 感度 …………… 検出する感度を設定します。  
感度が高いほど、遠くからのブロックを検出します。
- ③ 持続期間(秒) …………… レンズがブロックされた場合に、どのぐらいでアラームを作動するか設定します。
- ④ <保存> …………… 「改ざんアラーム」タブで設定した内容を保存します。

#### ■ 連動動作

タンパリング機能でアラームが作動した場合、動作する内容を設定します。  
設定の説明については、2-62ページをご覧ください。

従来型	ストレージ
<input type="checkbox"/> FTPアップロード	<input checked="" type="checkbox"/> 記録エッジストレージ
<input type="checkbox"/> メール送信	<input type="checkbox"/> イメージエッジストレージ

#### ■ スケジュール

タンパリング機能を使用する日時を設定します。  
設定の説明については、2-63ページをご覧ください。

スケジュール

有効  無効 編集

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

月  
火  
水  
木  
金  
土  
日

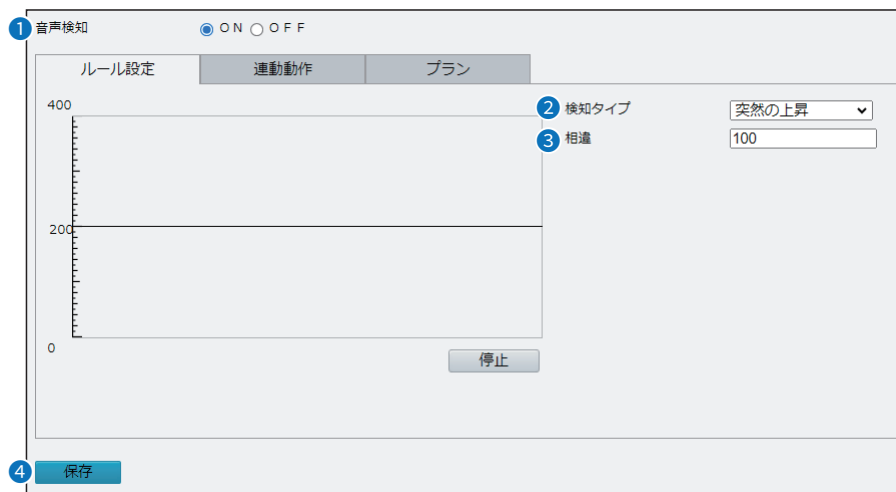


## 2 設定画面について

### 「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 音声検知

#### ■ 音声検知



- ① 音声検知 ..... チェックマークを入れると、音声検知機能が有効になります。
- ② 検知タイプ ..... 検知する音量変化のタイプを設定します。
- ③ 相違(しきい値) ..... [検知タイプ] (②) 欄で選択した検知タイプの音量変化の値を設定します。  
※ [検知タイプ] (②) 欄を「しきい値」に設定している場合は、「しきい値」を設定します。
- ④ <保存> ..... 「音声検知」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 音声検知

#### ■ 連動動作

動体検知機能がアラームが作動した場合、動作する内容を設定します。  
設定の説明については、2-62ページをご覧ください。

従来型	ストレージ
<input type="checkbox"/> FTPアップロード	<input checked="" type="checkbox"/> 記録エッジストレージ
<input type="checkbox"/> メール送信	<input type="checkbox"/> イメージエッジストレージ

#### ■ スケジュール

動体検知機能を使用する日時を設定します。  
設定の説明については、2-63ページをご覧ください。

スケジュール

有効  無効 編集

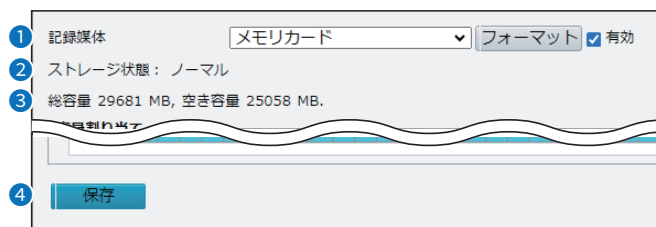
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																									
火																									
水																									
木																									
金																									
土																									
日																									

## 2 設定画面について

### 「ストレージ」画面

ストレージ > ストレージ > ストレージ

#### ■ 「ストレージ」タブ



- ① 記録媒体 ..... 映像や画像を保存する媒体が表示されます。  
<フォーマット>をクリックすると、設定している記録媒体を初期化します。  
「有効」にチェックマークを入れると、設定した記録媒体を使用します。
- ② ストレージ状態 ..... 記録媒体の状態を表示します。
- ③ 総容量と空き容量 ..... 現在のmicroSDカードの総容量と空き容量が表示されます。
- ④ <保存> ..... 「ストレージ」タブで設定した内容を保存します。

#### ■ 容量割り当て



- ① ビデオ(MB) ..... 録画ファイルの保存に割り当てる容量を設定します。
- ② スナップショット(MB) ..... 記録媒体の総容量から[ビデオ(MB)](①)欄で設定した容量の残りをスナップショットの保存に割り当てます。

## 2 設定画面について

### 「ストレージ」画面

ストレージ > ストレージ

#### ■ 映像ストレージ情報

microSDカードに録画映像を保存するときの設定をします。

映像ストレージ情報	
① ストレージポリシー	<input checked="" type="radio"/> マニュアル録画 <input type="radio"/> スケジュール録画 <input type="radio"/> ANR録画
② ストリーム	メインストリーム
③ 録画容量不足の場合	<input checked="" type="radio"/> 上書き <input type="radio"/> 停止
④ 事後録画時間(秒)	60

- ① **ストレージポリシー** ..... microSDカードに録画ファイルを保存する方法を設定します。
- ◎ **マニュアル録画**  
常に録画ファイルをmicroSDカードに保存します。
  - ◎ **スケジュール録画**  
指定した期間に録画したファイルをmicroSDカードに保存します。
  - ◎ **ANR録画**  
回線障害時にバックアップデータとして利用できるように映像をmicroSDカードに保存します。
- ② **ストリーム** ..... 録画で使用するストリームを設定します。  
ストリームの設定については、2-41ページをご覧ください。
- ③ **録画容量不足の場合** ..... microSDカードに録画ファイルを保存する容量がない場合の処理を設定します。
- ◎ **上書き**  
一番古い録画ファイルを削除して、新しい録画ファイル用の容量を作ります。
  - ◎ **停止**  
録画を停止します。
- ④ **事後録画時間(秒)** ..... アラームが設定されている録画の場合、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さを設定します。

#### ご注意

microSDカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。書き込みや消去などができなくなったときは寿命ですので、新しいmicroSDカードをご用意ください。重要なデータなどは、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。パソコンへ録画ファイルを保存する場合は2-9ページ、スナップショットを保存する場合は2-10ページをご覧ください。

## 2 設定画面について

### 「ストレージ」画面

ストレージ > ストレージ

#### ■ プラン

microSDカードに録画ファイルを保存する期間を設定します。

設定の説明については、2-63ページをご覧ください。

※ [映像ストレージ情報] 項目の [ストレージポリシー] 欄 (P.2-71) を「スケジュール録画」に設定している場合のみ表示されます。

プラン

有効  無効 編集

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																									
火																									
水																									
木																									
金																									
土																									
日																									

保存

## 2 設定画面について

### 「FTP」画面

ストレージ > FTP > FTP

#### ■ サーバーパラメーター

サーバーパラメーター	
① サーバーIP	<input type="text" value="192.168.0.150"/>
② ポート番号	<input type="text" value="21"/>
③ ユーザー名	<input type="text"/>
④ パスワード	<input type="password"/>
⑤ 画像アップロード	<input type="checkbox"/>
⑥ 上書き	<input type="checkbox"/>
⑦ 上書き(画像保存数)	<input type="text" value="1000"/>
⑧ テスト	<input type="button" value="テスト"/>

- |              |  |
|--------------|--|
| ① サーバーIP     | FTPサーバーのIPアドレスを設定します。  |
| ② ポート番号      | FTPサーバーのポート番号を設定します。   |
| ③ ユーザー名      | FTPサーバーへ認証するときのユーザー名を設定します。  |
| ④ パスワード      | FTPサーバーへ認証するときのパスワードを設定します。  |
| ⑤ 画像アップロード   | 画像をアップロードするか設定します。   |
| ⑥ 上書き        | 画像を上書きして保存するか設定します。<br>※チェックマークを入れた場合は、[ファイル名]欄(P.2-74)で「写真番号」を選択してください。 |
| ⑦ 上書き(画像保存数) | 画像を上書きして保存する枚数を設定します。  |
| ⑧ <テスト>      | [サーバーIP] (①)欄で設定したIPアドレスのFTPサーバーへログインできるかテストします。                         |

## 2 設定画面について

### 「FTP」画面

ストレージ > FTP > FTP

#### ■ スナップショットイメージ

FTPサーバーにスナップショットを送信するフォルダとファイル名を設定します。

スナップショットイメージ

保存先:  
① ルートディレクトリ  
無効 ¥¥ 無効 ¥¥ 無効 ¥¥ 無効 ¥¥

ファイル名:  
② 区切記号 -

番号	③ 命名要素
1	なし
2	
3	
4	
5	
6	

メモ: 現在のディレクトリに上書きされます

④ 保存

- ① ルートディレクトリ ..... FTPサーバーにスナップショットを保存するパスを設定します。
- ② 区切記号 ..... FTPサーバーに送信するスナップショットのファイル名を設定する場合、[命名要素] (③) 欄の区切りで使用する記号を設定します。
- ③ 命名要素 ..... FTPサーバーにスナップショットを送信するファイル名を設定します。
- ④ <保存> ..... 「FTP」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「ユーザー」画面

セキュリティ > ユーザー > ユーザー

#### ■ 「ユーザー」タブ

ユーザーの追加、削除やパスワードの変更をします。  
※「共通」メニューの「ユーザー」画面と同じ設定項目です。  
設定の説明については、2-23ページをご覧ください。

追加   編集   削除		
番号	ユーザー名	ユーザータイプ
1	admin	管理者



## 2 設定画面について

### 「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > HTTPS

#### ■ 「HTTPS」タブ

設定画面へのアクセスで、HTTPS機能とSSL証明を使用するときの設定です。

① HTTPS  ON  OFF  
② SSL証明  ファイル選択 アップロード  
③ 保存

- ① HTTPS ..... HTTPS機能をON/OFFします。
- ② SSL証明 ..... 本製品で使用するSSL証明を設定します。  
〈ファイル選択〉をクリックして、(拡張子:pem)を保存する場所を選択します。  
〈アップロード〉をクリックすることで、使用するSSL証明をアップロードします。
- ③ 〈保存〉 ..... 「HTTPS」タブで設定した内容を保存します。

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > 認証

#### ■ 「認証」タブ

ONVIF対応の機器で本製品の映像を確認する場合、RTSP、HTTPの認証方式を設定します。

① RTSP 認証 Digest  
② HTTP 認証 Digest  
③ 保存

- ① RTSP認証 ..... RTSP認証の認証方式を設定します。
- ② HTTP認証 ..... HTTP認証の認証方式を設定します。
- ③ 〈保存〉 ..... 「認証方式」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > ARP保護

#### ■ 「ARP保護」タブ

ARP(Address Resolution Protocol)攻撃から本製品を保護します。

パソコンが別のネットワークから本製品にアクセスする前に、ゲートウェイとMACアドレスを適切に設定する必要があります。誤ったMACアドレスが設定されている場合、同じLAN上のパソコンだけがアクセスできます。

① ARP保護  ON  OFF  
② ゲートウェイ   
③ ゲートウェイMACアドレス   
④ 保存

- ① ARP保護 ..... ARP保護機能をON/OFFします。
- ② ゲートウェイ ..... 「ネットワーク」画面の[デフォルトゲートウェイ]欄(P.2-16)で設定したゲートウェイアドレスが表示されます。
- ③ ゲートウェイMACアドレス ..... [ゲートウェイ](②)欄のMACアドレスを設定します。
- ④ <保存> ..... 「ARP保護」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について


### 「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > IPアドレスフィルタリング

#### ■ 「IPアドレスフィルタリング」タブ

指定したIPアドレスのアクセスを許可、または禁止します。

The screenshot shows the 'IP Address Filtering' configuration page. At the top, there is a toggle for 'IPアドレスフィルタリング' set to 'OFF'. Below it is a dropdown menu for 'フィルタリングモード' set to '許可リスト'. A table with two columns, '番号' (Serial Number) and 'IPアドレス' (IP Address), is shown. The first row has '1' in the serial number column and an empty text box in the IP address column. To the right of the table is a '+' button for adding entries and a trash icon for deleting entries. At the bottom left is a '保存' (Save) button.

- ① IPアドレスフィルタリング …… IPアドレスフィルタリング機能をON/OFFします。
- ② フィルタリングモード …… [IPアドレス] (③) 欄で登録したIPアドレスのアクセスを許可、または禁止するかを設定します。
  - ◎ 許可リスト  
登録したIPアドレスのアクセスを許可します。
  - ◎ アクセス拒否  
登録したIPアドレスのアクセスを禁止します。
- ③ IPアドレス …… アクセスを許可、または拒否するIPアドレスを入力します。
- ④ 追加 …… [IPアドレス] (③) 欄で設定した内容を追加します。
- ⑤ 削除 …… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の「」をクリックします。
- ⑥ <保存> …… 「IPアドレスフィルタリング」タブで設定した内容を保存します。

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > アクセス方式

#### ■ 「アクセス方式」タブ

The screenshot shows the 'Access Method' configuration page. It has two toggle options: 'MAC認証' (checked ON) and '不正なログインをロック' (checked ON). At the bottom is a '保存' (Save) button.

- ① MAC認証 …… MACアドレスを利用してアクセスを制限します。
- ② 不正なログインをロック …… 「ON」に設定した場合、ログインに5回失敗すると、ロックされます。5分間経過後に、再度ログインしてください。
- ③ <保存> …… 「アクセス方式」タブで設定した内容を保存します。

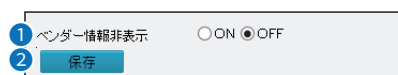
## 2 設定画面について

### 「登録情報」画面

セキュリティ > 登録情報 > 登録情報

#### ■ 「登録情報」タブ

Webインターフェースで本製品のベンダー情報を非表示に設定できます。



- ① **ベンダー情報非表示** ..... ベンダー情報非表示機能をON/OFFします。
- ② **〈保存〉** ..... 「登録情報」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「ウォーターマーク」画面

セキュリティ > ウォーターマーク > ウォーターマーク

#### ■ 「ウォーターマーク」タブ

① ウォーターマーク  ON  OFF

② ウォーターマーク内容

③ 保存

- ① ウォーターマーク ..... 著作権の保護のために背景に透かしを設定します。
- ② ウォーターマーク内容 ..... 透かしで表示する文字列を入力します。
- ③ 〈保存〉 ..... 「ウォーターマーク」タブで設定した内容を保存します。

## 2 設定画面について

### 「時間」画面

システム > 時間 > 時間

#### ■ 「時間」タブ

本製品の内部時計を設定します。

※ 「時刻同期」欄を「NTPサーバーと同期」に設定したときに表示される画面を使用しています。

※ 「共通」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。

設定の説明については、2-18ページをご覧ください。

時刻同期	<input type="text" value="NTPサーバーと同期"/>
タイムゾーン	<input type="text" value="(UTC+09:00) 東京、大阪、ソウル、ヤクーツ"/>
システム時間	2020-01-01 12:00:00
時刻を設定	<input type="text" value="2020-01-01 12:00:00"/> <input type="button" value="P Cと時刻同期"/>
<b>NTPサーバー</b>	
NTPサーバーアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/> <input type="button" value="テスト"/>
更新間隔(秒)	<input type="text" value="600"/>
<input type="button" value="保存"/>	

システム > 時間 > サマータイム

#### ■ サマータイム

設定した期間だけ時刻を進めます。

※ 「共通」メニューの「時間」画面にある「サマータイム」タブと同じ設定項目です。

設定の説明については、2-19ページをご覧ください。

<b>サマータイム</b>	
サマータイム	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
開始時刻	4月 第1日 02時
終了時刻	10月 最終日 02時
サマータイム調整	60分
<input type="button" value="保存"/>	

## 2 設定画面について

### 「メンテナンス」画面

システム > メンテナンス > メンテナンス

#### ■ ファームウェア更新

ファームウェアの更新をします。

- 1 ローカル更新** ..... <ファイル選択>をクリックして、表示された画面から、パソコンに保存している本製品のファームウェアファイル(拡張子：zip)を選択して、<開く(O)>をクリックします。  
選択したファイルとその階層が、[ローカル更新]欄のテキストボックスに自動入力されたことを確認します。  
<アップグレード>をクリックすると、テキストボックスに表示された保存先のファームウェアファイルを本製品に書き込みます。  
[ブートプログラムをアップグレード]にチェックマークを入れてファームウェアを更新すると、設定が初期化され、ブートプログラムを本製品と同時にアップデートします。
- 2 クラウド更新** ..... クラウド上のファームウェアを確認し、新しいバージョンがあればファームウェアを更新します。

## 2 設定画面について

### 「メンテナンス」画面

システム > メンテナンス > メンテナンス

#### ■ 設定管理

設定内容の初期化、書き出し、読み出しをします。

※保存した設定ファイル(拡張子:tgz)は、本製品以外の製品では使用できません。

※設定ファイル(拡張子:tgz)のファイル名に「config」が含まれていない場合、設定内容を読み込みません。

※読み出しには数分かかる場合があります。

※IPアドレスと管理者用のパスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

- 1 <工場出荷設定>** ..... 本製品に設定された内容から一部の設定内容(P.3-5)以外を出荷時の状態に戻します。  
「ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックマークを入れると、すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。  
※DHCPサーバーがないネットワーク環境で初期化すると、本製品のIPアドレスは「192.168.1.13」(出荷時の設定)になります。  
初期実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。
- 2 設定の読み出し** ..... [設定の書き込み] (3) 欄の操作で保存した設定ファイル(拡張子:tgz)の内容を本製品に読み出しするとき使用します。  
設定ファイルの保存先を指定するため、<ファイル選択>をクリックします。  
表示された画面から、目的の設定ファイルを選択して、<開く(O)>をクリックすると、選択した設定ファイルの参照先がテキストボックスに表示されます。  
<読み出し>をクリックすると、本製品に選択した設定内容を読み込みます。  
※読み出しを完了すると、本製品は自動的に再起動します。  
※市販のソフトウェアなどで編集したものは、誤動作の原因になりますので、本製品に登録しないでください。
- 3 設定の書き出し** ..... 本製品すべての設定内容をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップできます。  
<ファイル選択>をクリックして、設定ファイル名「config.tgz」を保存する場所を選択します。  
<書き出し>をクリックすることで、設定ファイルを保存します。  
保存したファイルは、[設定の読み出し] (2) 欄の操作で、本製品に書き込みできます。

#### 設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



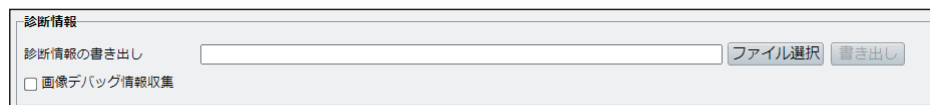
## 2 設定画面について

### 「メンテナンス」画面

システム > メンテナンス > メンテナンス

#### ■ 診断情報

情報ログとシステム構成を書き出したファイルを生成します。



#### 診断情報の書き出し……………

情報ログとシステム構成を書き出します。


〈ファイル選択〉をクリックして、ファイル(拡張子:tgz)を保存する場所を選択します。

〈書き出し〉をクリックすることで、ファイルを保存します。

[画像デバッグ情報収集]をクリックすると、デバッグ情報を含む映像を同時に表示します。

#### ■ デバイス再起動

〈再開〉をクリックすると、本製品を再起動します。



この章では、

本製品の設定内容の保存、ファームウェアを更新する手順について説明しています。

---

1. 設定内容の保存 .....	3-2
2. 保存された設定の読み出し .....	3-3
3. 設定を出荷時の状態に戻すには .....	3-4
■ 〈RESET〉ボタンを使用する .....	3-4
■ 設定画面を使用する .....	3-5
4. ファームウェアを更新する .....	3-6
■ ファームウェアについて .....	3-6
■ ファームウェアを更新する .....	3-7

## 3 保守について

### 1. 設定内容の保存

システム > メンテナンス > メンテナンス

本製品の設定画面で変更された内容を設定ファイル(拡張子: tgz)としてパソコンに保存できます。

※ 保存した設定ファイル(拡張子: tgz)は、本製品以外の製品では使用できません。

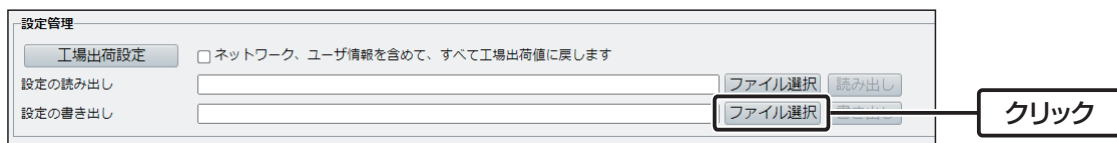
※ 設定ファイル(拡張子: tgz)のファイル名に「config」が含まれていない場合、設定内容を読み込みません。

※ 設定を保存しておく、誤って設定内容が失われたときなどに利用できます。

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

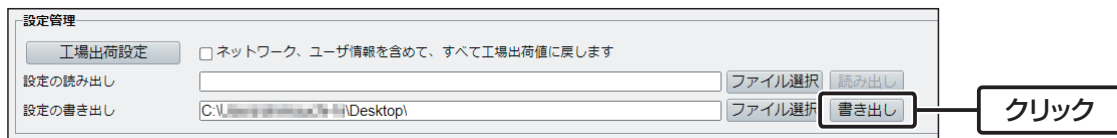
2 [設定の書き出し]項目の〈ファイル選択〉をクリックします。

設定ファイルを保存する場所を選択します。



3 〈書き出し〉をクリックします。

選択した場所に設定ファイル名「config.tgz」が保存されます。



## 3 保守について

### 2. 保存された設定の読み出し

システム > メンテナンス > メンテナンス

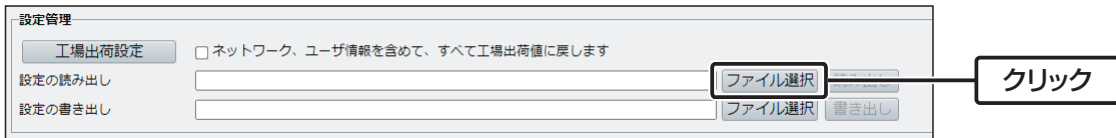
本製品の設定画面からパソコンに保存した設定ファイル(P.3-2)を本製品に読み込む手順を説明します。

※設定ファイル(拡張子:tgz)のファイル名に「config」が含まれていない場合、設定内容を読み込みません。

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 「設定の読み出し」欄の〈ファイル選択〉をクリックします。

「開く」画面(別画面)が表示されます。

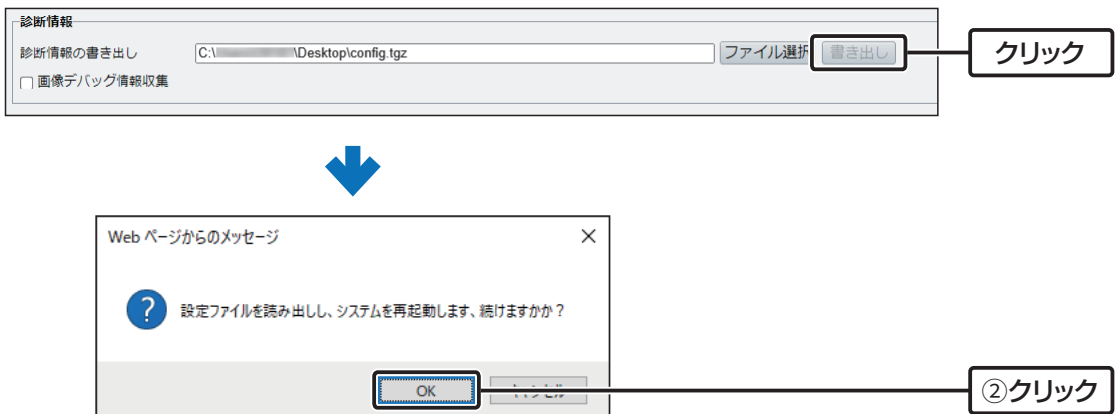


3 「開く」画面(別画面)から、設定ファイル(拡張子:tgz)を指定して、〈開く(O)〉をクリックします。

「設定の読み出し」欄のテキストボックスに、読み込む設定ファイルが表示されます。

4 〈読み出し〉をクリックします

※設定を読み込むために本製品が再起動します。



#### 設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 3 保守について

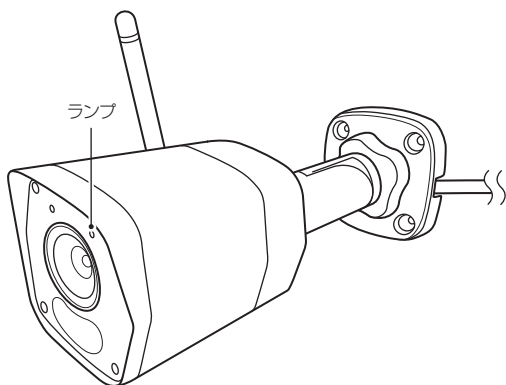
### 3. 設定を出荷時の状態に戻すには

ネットワーク構成を変更するときなど、既存の設定データをすべて消去して、設定をはじめからやりなおすときは、本製品の設定内容を出荷時の状態に戻せます。

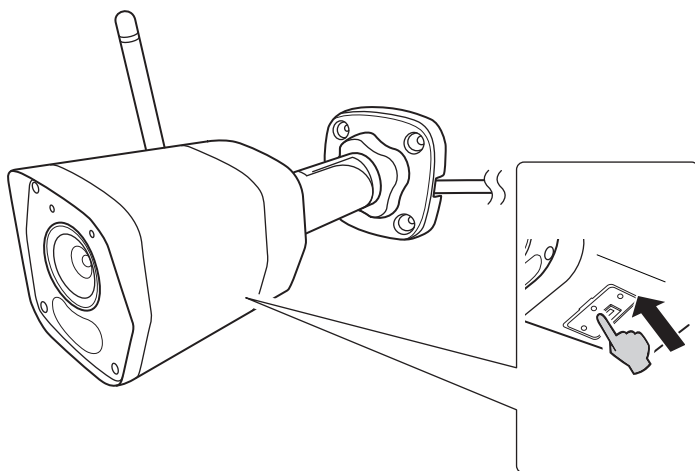
そのときの状況に応じて、次の2とおりの方法があります。

#### ■ 〈RESET〉ボタンを使用する

- 1 本製品からすべての機器を取りはずして、電源を入れるランプの点灯を確認してから、手順2の動作を開始してください。



- 2 SDカードスロットのカバーをはずし、〈RESET〉ボタンを約15秒押し出荷時の状態に戻すために、本製品が再起動します。



#### ご注意

DHCPサーバーがないネットワーク環境で初期化すると、本製品のIPアドレスは、「192.168.1.13」(初期設定)になります。初期化実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。

## 3 保守について

### 3. 設定を出荷時の状態に戻すには

システム > メンテナンス > メンテナンス

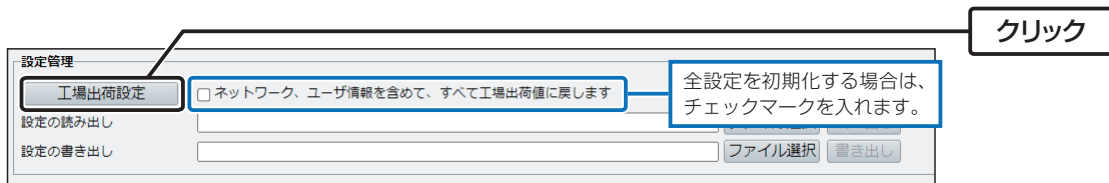
本製品に設定されたIPアドレスと管理者パスワードがわかっていて、そのIPアドレスで設定画面にアクセスできるときは、本製品の設定画面から、すべての設定を出荷時の状態に戻せます。

IPアドレスと管理者パスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

#### ■ 設定画面を使用する

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 「工場出荷設定」をクリックします。



3 「OK」をクリックします。

出荷時の状態に戻すために、本製品が再起動します。



#### 初期化の条件について

- ◎「ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックマークを入れた場合  
本製品に設定されたすべての内容を出荷時の状態に戻します。  
DHCPサーバーがないネットワーク環境で初期化すると、本製品のIPアドレスは、「192.168.1.13」(初期設定)になります。  
初期化実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。
- ◎「ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックマークを入れていない場合  
下記の設定項目以外を出荷時の状態に戻します。
  - 管理者用のパスワード
  - 「ネットワーク」タブにある [IPアドレスを取得] 欄、[IPアドレス] 欄、[サブネットマスク] 欄、[デフォルトゲートウェイ] 欄 (P.2-16)
  - 「時間」タブにある [システム時間] 欄 (P.2-18)
  - 「Wi-Fi」タブ (P.2-26)
  - 「DNS」画面 (P.2-30)
  - 「ストレージ」タブにある [ビデオ (MB)] 欄 (P.2-70)

### 3 保守について

#### 4. ファームウェアを更新する

本製品の設定画面からファームウェアを更新できます。

共通 > 基本情報 > 基本情報

##### ■ ファームウェアについて

ファームウェアは、本製品を動作させるために、出荷時から本製品のフラッシュメモリーに書き込まれているプログラムです。

このプログラムは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップすることがあります。

更新を実行する前に、本製品の設定画面にアクセスして、[基本情報]項目に表示されるバージョン情報を確認してください。

ファームウェアを更新すると、機能の追加など、本製品を最良の状態にできます。

バージョン情報	
ファームウェアバージョン…	0990-00000-10-000000-000000
ハードウェアバージョン	↓
ブートバージョン	V1.1
シリアル番号	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

バージョン情報

### 3 保守について

#### 4. ファームウェアを更新する

システム > メンテナンス > メンテナンス

##### ■ ファームウェアを更新する

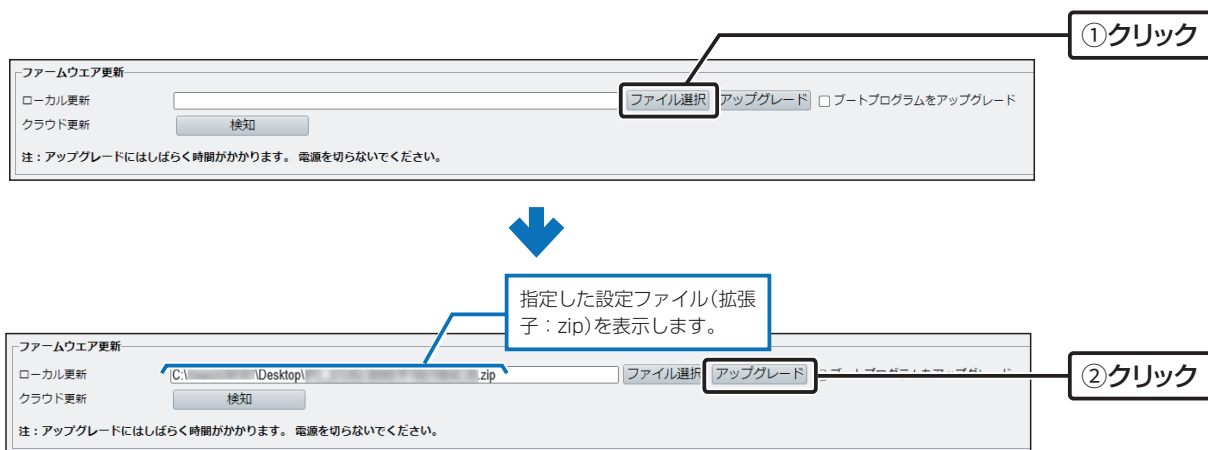
ファームウェアの更新を実行する前に、現在の設定内容を保存されることをおすすめします。(P.3-2)

※ 更新後、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、ダウンロードするときは、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

※ 日常、管理者以外の端末から更新できないように、設定画面へのアクセス制限の設定をおすすめします。(P.2-23)

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 下記のように、弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアファイル(拡張子: zip)の保存先を指定して、更新します。



3 <OK>をクリックします。

ファームウェアの更新後に本製品が再起動します。

※ファームウェア更新中は、本製品が再起動するまで電源を切らないでください。





この章では、  
困ったときの対処法、設定画面の構成、仕様などを説明しています。

---

1. 困ったときは	4-2
2. 設定画面の構成について	4-3
3. 定格について	4-5
■ 一般仕様	4-5
■ ネットワーク部	4-5
■ カメラ部	4-6
■ 寸法図	4-6

## 4 ご参考に

### 1. 困ったときは

下記のような現象は、故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。  
それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

#### 本製品が起動しない

- ACアダプターが本製品に接続されていない  
→ 本製品のACアダプター、およびDCプラグの接続を確認する
- ACアダプターをパソコンなどの電源と連動したコンセントに接続している  
→ 本製品のACアダプターを壁などのコンセントに直接接続する

#### 本製品の画面が正しく表示されない

- WWWブラウザのJavaScript機能、およびCookieを無効に設定している  
→ JavaScript機能、およびCookieを有効に設定する
- Microsoft Internet Explorer 10以前を使用している  
→ Microsoft Edgeを使用する

#### 本製品の画面にアクセスできない

- IPアドレスのネットワーク部が、本製品とパソコンで異なっている  
→ パソコンに設定されたIPアドレスのネットワーク部を本製品と同じにする
- ご使用のWWWブラウザにプロキシサーバーが設定されている  
→ スタートメニューから「設定」をクリックし、「ネットワークとインターネット」、「プロキシ」の順に操作して、「プロキシサーバーを使う」がオフになっていることを確認する

#### ランプが点滅している

- LANケーブルが本製品と正しく接続されていない  
→ 本製品の[LAN]ポート、またはLANケーブルを確認する
- ネットワークに接続されていない  
→ ネットワークの設定がされているか確認する

#### ランプがつかない

- ACアダプターが本製品に接続されていない  
→ 本製品のACアダプター、およびDCプラグの接続を確認する
- ナイトモードに設定されていない  
→ 設定画面からナイトモードに設定する(P.2-54)

#### IPアドレスがわからない

- DHCPサーバー機能を設定して使用している  
→ Guard Station(監視ソフトウェア)を起動して、「デバイス管理」に表示されているIPアドレスを確認する

#### ローカル録画とスナップショットが使用できない

- Microsoft Edgeを管理者権限で起動していない  
→ 管理者権限でMicrosoft Edgeを起動し、本製品の画面にアクセスする(P.1-6)

## 4 ご参考に

### 2. 設定画面の構成について

本製品の全設定を初期化したとき、WWWブラウザに表示される設定画面の構成です。

設定メニュー	設定画面	設定タブ/設定項目	
共通	基本情報	基本情報	
		基本情報	
		バージョン情報	
		状態	
		ローカルパラメータ	ローカルパラメータ
			ビデオ
			録画・スナップショット
		有線ネットワーク	有線ネットワーク
			IPv4
			IPv6
			基本
時間	時間		
	NTPサーバー		
	サマータイム		
プラットフォームアクセス	P2P		
OSD	ライブビュー		
	表示形式		
ユーザー	ユーザー		
ネットワーク	基本設定	有線ネットワーク	
		IPv4	
		IPv6	
		基本	
		Wi-Fi	
		ネットワーク状態	
		Wi-Fiネットワーク	
		Wi-Fi	
		DNS	
		DDNS	
		ポート	
		ポートマッピング	
		サービス設定	Eメール
			送信者
			受信者
			SNMP
			QoS
ビデオと音声	ビデオ	ビデオ	
		メインストリーム	
		サブストリーム	
		スナップショット	スナップショット
			スナップショットスケジュール
		音声	音声
			音声入力
		ROI	ROI
		メディアストリーム	メディアストリーム
			RTSPマルチキャストアドレス
	メインストリーム		
	サブストリーム		

## 4 ご参考に

### 2. 設定画面の構成について

設定メニュー	設定画面	設定タブ/設定項目
画像	画像	画像
		シーン
		画像補正
		露出
	OSD	スマート照明
		ホワイトバランス
		詳細設定
	プライバシーマスク	ライブビュー
		表示形式
インテリジェント	スマート	プライバシーマスク
		人体検出
イベント	標準アラーム	ルール設定
		連動動作
		プラン
		動体検知
		ルール設定
		連動動作
		プラン
		改ざんアラーム
		ルール設定
		連動動作
		プラン
		音声検知
ルール設定		
連動動作		
プラン		
ストレージ	ストレージ	ストレージ
		容量割り当て
		映像ストレージ情報
		FTP
セキュリティ	ユーザー ネットワークセキュリティ	FTP
		サーバーパラメーター
		スナップショットイメージ
		ユーザー
		HTTPS
		認証
		ARP保護
		IPアドレスフィルタリング
		アクセス方式
		登録情報
ウォーターマーク		
システム	時間	ウォーターマーク
		時間
		NTPサーバー
		サマータイム
		メンテナンス
		ファームウェア更新
設定管理		
診断情報		
デバイス再起動		

## 4 ご参考に

### 3. 定格について

#### ■ 一般仕様

電	源	: DC12V±25% [DCプラグ極性: ⊖—●—⊕] ※ACアダプター(別売品)は、AC100V±10%
消	費	電 力: 最大4.0W
使	用	環 境: 温度-30~+60℃、湿度5~95% (結露状態を除く)
寸		法: 172(W)×76(H)×72(D)mm(突起物を除く)
重		量: 約250g(付属品を除く)
インターフェース		: ランプ(LAN) ボタン(RESET)
メモリーカード		: microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード(128GBまで)

#### ■ ネットワーク部

インターフェース	: 有線LAN : [LAN]ポート(RJ-45型)×1 : 10BASE-T/100BASE-TX準拠 無線LAN : IEEE802.11b/g/n準拠 : WEP(64/128bit)、WPA-PSK/WPA2-PSK
圧縮方式	: Ultra 265、H.265、H.264、MJPEG
解像度	: メインストリーム: 1080p @ 30fps サブストリーム: 720p @ 30fps
ビットレート	: 128Kbps~6Mbps
最大フレームレート	: 30fps

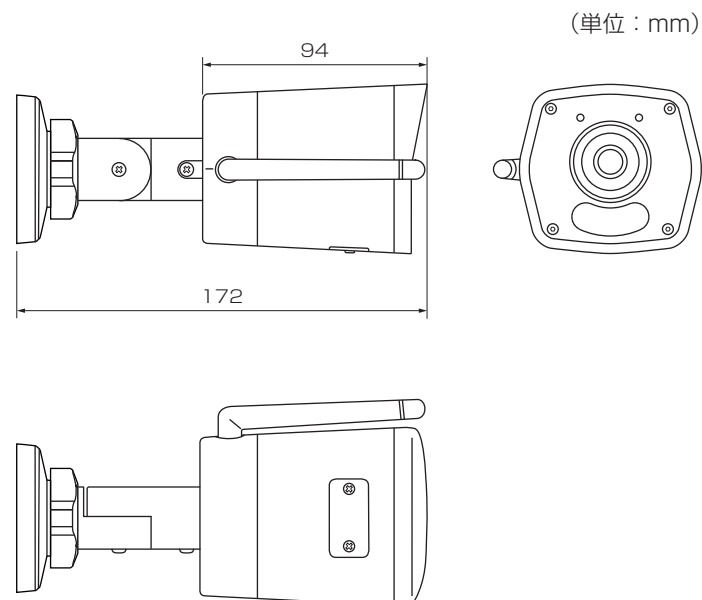
## 4 ご参考に

### 3. 定格について

#### ■ カメラ部

撮 像 素 子	1/2.9 型 2MpixelプログレッシブスキャンCMOSイメージセンサー
焦 点 距	離：2.8mm
絞	り：F2.0
対 角 画 角	角：水平：101.1°/垂直：55.0°/対角：111.0°
I R 照 射 距 離	：30m
最 低 被 写 体 照 度	：0.01 Lux(カラー)、0 Lux(IR-on)

#### ■ 寸法図



定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。